OOK NEWS MARUZEN-YUSHODO



書評 201905



ミズノ先生の仏像のみかた

水野 敬三郎 著

講談社

仏像の顔は日本人?目がキラキラ光るのはなぜ?仏像を横からみると何がわかるの? 仏像の中には何がはいっているの? 仏像研究の第一人者が、仏像の見かたや考え かたを、一般の仏像愛好者にわかるようやさしく語る。

2019:2./ 246p 978-4-06-514760-3 本体 ¥1,800+税

産経新聞 2019/05/04



いかにしてアーサー王は日本で受容されサブカルチャー界に君臨したか~変容する 中世騎士道物語~ アーサー版

小宮 真樹子 編 みずき書林

漫画・アニメ・ゲーム・文学に圧倒的影響を与え続けるアーサー王伝説。中世研究 者・作家・ゲームライターら多彩な顔触れが騎士道ファンタジーの王道を徹底解剖。 同タイトルのガウェイン版、ランスロット版と装丁違いの同内容。

2019:3./ 349p,7p 978-4-909710-05-5 本体 ¥2,800+税

産経新聞 2019/05/04



日本の野球場 100 選巡礼~スタジアム漫遊記~

久保田 登志雄 著 彩流社

これまで野球観戦のために 315 球場を訪ねた著者が、プロ野球との?がりが深い 100 の球場に足を運んだときの思い出やエピソードを綴る。現存しない 11 の球場の跡地 訪問記も収録。

2019:2./311p 978-4-7791-2566-9 本体 ¥1,800+税

産経新聞 2019/05/05



「わたし」と平成~激動の時代の片隅で~

高田 昌幸 編 フィルムアート社

プリクラの開発者、新橋の靴磨き、戦争の語り部、被災者、離島の灯台守...。 さまざま な人が語るそれぞれの 30 年を通じて、平成という一時代の終わりとその先を見つめ る。『Yahoo!ニュース』特集を元に書籍化。

2019:3./ 287p 978-4-8459-1828-7 本体 ¥1,600+税

産経新聞 2019/05/05



ドナルド・キーンのオペラへようこそ!~われらが人生の歓び~

ドナルド・キーン 著

文藝春秋

光源氏とドン・ジョヴァンニを比較したら? 好きな歌手は? 日本文学研究者で、熱狂 的なオペラファンのドナルド・キーンによるオペラ解説の集大成。鑑賞したオペラ公演 のリスト、近藤憲一の寄稿も収録。

2019:4./316p 978-4-16-391007-9 本体 ¥2,000+税

産経新聞 2019/05/05、東京·中日新聞 2019/05/26

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBNも併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2019年5月時点での税抜価格です。



昭和の指導者

戸部 良一著 中央公論新社

時代の指導者はいかにして生まれるのか。危機が指導者を登場させるのか。昭和戦 前期の「指導者不在」の原因を、6 人の国家指導者の軌跡を軸に考察する。宇垣一 成についての論文も収録。『鵬友』掲載等を単行本化。

2019:4./ 6p,239p 978-4-12-005184-5 本体 ¥1,900+税

産経新聞 2019/05/05、日本経済新聞 2019/05/18



オリジン<下>(角川文庫 フ 33-19)

ダン・ブラウン 著

KADOKAWA

サグラダ・ファミリアを捜索し、ウィリアム・ブレイクの手稿本から手がかりを得たラングド ンのもとに暗殺者が迫る。先の見えない逃亡劇の果てにラングドンがたどり着いた衝 撃的な真相とは...。

2019:3./ 296p 本体 ¥720+税

978-4-04-105598-4

産経新聞 2019/05/11



オリジン<中>(角川文庫 フ 33-18)

ダン・ブラウン 著

KADOKAWA

カーシュが遺した映像を見るには、スマートフォンにパスワードを打ち込む必要があ る。カーシュの部屋で手がかりを見つけたラングドンは、「ウィリアム・ブレイク全集」が 寄託されたサグラダ・ファミリアに向かう。

2019:3./ 299p 978-4-04-105599-1 本体 ¥720+税

産経新聞 2019/05/11



オリジン<上>(角川文庫 フ 33-17)

ダン・ブラウン 著

KADOKAWA

ラングドンの元教え子カーシュが、人類最大の謎"われわれはどこから来て、どこへ行 くのか"を解き明かす映像を発表する直前に射殺された。ラングドンはカーシュの残し た人工知能の助けを借りて謎に迫る!

2019:3./300p 978-4-04-105600-4 本体 ¥720+税

産経新聞 2019/05/11



ビッグ・クエスチョン~<人類の難問>に答えよう~

スティーヴン・ホーキング、青木 薫 著

NHK出版

「宇宙の始まりとは?」「人類は地球に住み続けるべきか?」「AI は人間を超えるか?」な ど、誰も解き明かしていない 10 の究極の問い(ビッグ・クエスチョン)に、ホーキング博 士が挑む。

2019:3./ 254p 978-4-14-081773-5 本体 ¥1,500+税

産経新聞 2019/05/11、朝日新聞 2019/05/25



そのとき、西洋では~時代で比べる日本美術と西洋美術~

宮下 規久朗 著

小学館

日本にルネサンスはあったのか? 西洋と日本、同時代の美術の歴史を比較考察。2 つの美術史が拮抗し共振する様を、具体的な作例や事象によって明らかにする。「日 本美術全集」月報連載を加筆・再編集。

2019:3./ 271p 978-4-09-682274-6 本体 ¥1,900+税

産経新聞 2019/05/12



パイパーさんのバス

エリナー・クライマー、クルト・ヴィーゼ、小宮 由 著徳間書店

大、猫、ひよこといっしょに暮らすことになった、バスの運転手のパイパーさん。うちの中はにぎやかになりましたが、大家さんに動物たちを追いだすように言われてしまい…。 あたたかなタッチのさし絵の、ほのぼのとした物語。

2018:2./ 140p 978-4-19-864574-8 本体 ¥1,400+税

産経新聞 2019/05/12



世にも美しき数学者たちの日常

二宮 敦人 著

幻冬舎

想像以上に、天才的。まさかの、文学的。これが彼らの生き様だ! 黒川信重、加藤文元など日本を代表する 7 人の数学者と、4 人の数学マニアに取材し、その未知なる世界に触れる。『小説幻冬』連載を再構成し加筆修正。

2019:4./ 310p 978-4-344-03450-1 本体 ¥1,400+税

産経新聞 2019/05/12



社会のなかのコモンズ~公共性を超えて~

待鳥 聡史、宇野 重規 著

白水社

ポスト 2020 年の社会を考えるために-。法学者、政治学者、経済学者らによる実験的論集。1990 年代に流行った「公共性」論を振り返るとともに、2020 年代以降における「公私」概念を<コモンズ>から展望する。

2019:1./ 238p,2p 978-4-560-09661-1 本体 ¥2,400+税

産経新聞 2019/05/12



井上靖未発表初期短篇集

井上 靖、高木 伸幸 編七月社

ユーモア小説から、探偵小説、時代小説まで、昭和の文豪・井上靖の知られざる 20 代の軌跡をたどる、未発表初期短篇集。長くしまわれていた戦後唯一の未発表戯曲 「夜霧」も併録。 2019:4./ 272p 978-4-909544-04-9 本体 ¥2,400+税

産経新聞 2019/05/12



読む寿司~オイシイ話 108 ネタ~

河原 一久 著

文藝春秋

ファストフードとして始まった握り寿司。音楽と同じように、時代とともに変容する多様性を楽しもう。有名寿司店を食べ歩く著者が、寿司に関して個人的に知りえたこと、面白いと感じたエピソードなどを紹介。

2019:4./ 262p 978-4-16-391015-4 本体 ¥1,400+税

産経新聞 2019/05/12、読売新聞 2019/05/26



検証平成建築史

内藤 廣、日経アーキテクチュア、日経アーキテクチュア 編 日経BP社

「平成」という時代は、建築界の何を変え、何を積み残したのか。建築家・内藤廣のロングインタビューと、建築専門誌『日経アーキテクチュア』の記事により、その答えを浮き彫りにする。とじ込み建築・社会年表付き。

978-4-296-10217-4 本体 ¥3,200+税

2019:3./ 319p

産経新聞 2019/05/12、日本経済新聞 2019/05/18



救済の文学

岸間 卓蔵 著

田畑書店

いい私小説を読むと、なぜわれわれの魂は慰められるのだろう-。新世代文芸批評家の私小説論。近代の文学についての考察や、文学史を探求した文章なども収める。

2019:4./ 210p 978-4-8038-0358-7 本体 ¥1,800+税

産経新聞 2019/05/18



検事の信義([佐方貞人シリーズ][4])

柚月 裕子 著

KADOKAWA

認知症の母を殺害して逮捕された息子の裁判を担当することになった、任官 5 年目の検事・佐方貞人。彼は、遺体発見から逮捕まで「空白の 2 時間」があることに疑問を抱き...。 心ふるわすリーガル・ミステリー全 4 編を収録。

2019:4./ 253p 978-4-04-106657-7 本体 ¥1,500+税

産経新聞 2019/05/19



いも殿さま

土橋 章宏 著

KADOKAWA

引退を控える旗本・井戸平左衛門は、町奉行の大岡忠相から、飢饉と悪政に喘ぐ石 見銀山の地に行くよう命じられる。旅の果てにたどり着いた石見の土地は、想像を絶 する悲惨な状況だった…。『文芸カドカワ』連載を単行本化。

2019:3./ 276p 978-4-04-107785-6 本体 ¥1,600+税

産経新聞 2019/05/19



脳科学的に正しい一流の子育て Q&A

西 剛志 著

ダイヤモンド社

算数が得意になる方法は?性格を変えることはできるの? 自制心を高めるには?子供の「創造力」や「コミュニケーション力」「セルフコントロール力」などの非認知スキルを磨く方法を、脳科学者が Q&A 形式で解説する。

2019:4./ 295p 978-4-478-10781-2 本体 ¥1,600+税

産経新聞 2019/05/19



脱走王と呼ばれた男〜第二次世界大戦中 21 回脱走した捕虜の半生〜

デイヴィッド・M.ガス、花田 知恵 著

原書房

脱走は将校の義務である-。トンネル作戦、綱渡り、列車からの飛び降り、詐病…。第二次世界大戦中、仲間と共に、あるいは単独で脱走を繰り返し、不屈の精神力で目的を果たしたイギリス軍将校アレスター・クラムの半生を描く。

2019:3./ 379p 図版 16p 978-4-562-05642-2 本体 ¥2,800+税

* 9 7 8 4 5 6 2 0 5 6 4 2 2 *

産経新聞 2019/05/19



ファンタジーを読む~『指輪物語』、『ハリー・ポッター』、そしてネオ・ファンタジーへ~

井辻 朱美 著

青土社

現実そのものがファンタジーじみてきた今、ファンタジーはどこへゆくのか-。トールキン、エンデ、ローリング、荻原規子ら国内外の様々なファンタジー作品を手がかりに、世紀をまたいだ「ファンタジー文学」の転回を読み解く。

2019:4./ 272p,7p 978-4-7917-7164-6 本体 ¥2,000+税

産経新聞 2019/05/19



軍歌と日本人~国民を鼓舞した 197 曲~

大野 敏明 著 産経新聞出版

明治から昭和まで、80 年近い帝国陸海軍の歴史の中で生まれ、現代まで唄い継がれる名曲、知られざる佳曲…。歌詞を紹介しながら、軍歌が唄われた時代の日本の姿を浮き彫りにする。曲名索引付き。

2019:5./ 271p 978-4-8191-1365-6 本体 ¥1,600+税

産経新聞 2019/05/19



日本の腎移植はどう変わったか~60年代から修復腎移植再開まで~

高橋 幸春 著

えにし書房

腎不全がほぼ死を意味した時代から、修復腎移植再開まで。日本の腎移植を巡る社会の変容を、長期にわたる綿密な取材で丁寧にたどり、多くの問題点を浮かび上がらせる。『医薬経済』『月刊潮』連載等を単行本化。

2019:3./ 225p 978-4-908073-64-9 本体 ¥1,800+税

産経新聞 2019/05/19



わたくしのビートルズ~小西康陽のコラム 1992-2019~

小西 康陽 著

朝日新聞出版

ビートルズ私のベスト 20、恋愛を人生の総てと考える人々、旅先で結婚を考えた瞬間…。平成時代に発表したコラム、レコード評、インタヴュー、対談、映画メモ、映画レヴューに加え、未発表の日記を精選。

2019:4./ 415p 978-4-02-251593-3 本体 ¥3,300+税

産経新聞 2019/05/26



隠居すごろく

西條 奈加 著 KADOKAWA

巣鴨の糸問屋の店主・徳兵衛は、隠居生活に入った。人生を双六にたとえれば隠居は「上がり」のようなもの。だが、孫の千代太が隠居家を訪れたことで、予想外に忙しい日々が始まった!『公明新聞』連載を加筆・修正。

2019:3./ 365p 978-4-04-106755-0 本体 ¥1,600+税

産経新聞 2019/05/26



日中の失敗の本質~新時代の中国との付き合い方~(中公新書ラクレ 648)

宮本 雄二 著

中央公論新社

トランプの登場は「アメリカの時代」の終わりの始まりなのか。習近平が謳い上げた「中国の夢」「一帯一路」をどう読むか。平和で安定した日中関係を構築するための、元大使によるインテリジェンス・レポート。

2019:3./ 213p 978-4-12-150648-1 本体 ¥820+税

産経新聞 2019/05/26



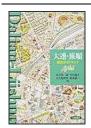
2038 滅びにいたる門

廣田 尚久 著河出書房新社

エッフェル塔をミサイル攻撃せよ-。近未来、AI に絶大な信頼をおく世界で出された 指示は意外なものだった…。人類に警鐘を鳴らす、紛争解決学の創始者によるディストピア文学。 978-4-309-92170-9 本体 ¥1,700+税

2019:3./ 252p

産経新聞 2019/05/26



大連・旅順歴史ガイドマップ

木之内 誠、平石 淑子、大久保 明男、橋本 雄一 著大修館書店

大連・旅順の都市景観の現在を、場の歴史的な状況と重ね合わせて俯瞰できる地図を収録。大連・旅順の昨日と今日をものがたる 282 項目の来歴と現状についても解説する。コラム、近代史年表付き。見返しに索引図あり。

2019:4./ 5p,201p 978-4-469-23281-3 本体 ¥3,000+税

産経新聞 2019/05/26



学問こそが教養である

渡部 昇一、江藤 裕之 編

育鵬社

真の学者であり、教育者でもあった稀代の碩学・渡部昇一の実践的教養論。文明論、歴史、そして英語について語った「講演」と、教育をテーマにした「対談」の 2 部構成。

2019:4./ 229p 978-4-594-08204-8 本体 ¥1,500+税

産経新聞 2019/05/26



天皇家百五十年の戦い~1868-2019~

江崎 道朗 著 ビジネス社

明治維新以降の国家と皇室をめぐる議論を振り返りながら、天皇が自由と民主主義を 奉じる日本を根底から支えるために、いかなる戦いを繰り広げ、国家の命運に関わる 務めを果たしてこられたのか、その苦闘と模索の歴史を辿る。 2019:4./ 303p 978-4-8284-2078-3 本体 ¥1,700+税

産経新聞 2019/05/26



とりあえずごめんなさい

五味 太郎 著

絵本館

植木屋さんが床屋さんしててごめんなさい。鬼ケ島が実は高級リゾートでごめんなさい…。あれれ、なんだか変!とりあえず「ごめんなさい」と言ってしまう愉快なシチュエーションが盛りだくさんのユーモア絵本。

2019:5./ 24p 978-4-87110-418-0 本体 ¥1,300+税

産経新聞 2019/05/26



特捜は「巨悪」を捕らえたか~地検特捜部長の極秘メモ~

宗像 紀夫 著

ワック

リクルート事件、ロッキード事件、ダグラス・グラマン事件…。元東京地検特捜部長・宗像紀夫が極秘メモや日記の数々を明らかにした、臨場感あふれるノンフィクション回顧録。捜査時のリアルタイムの日記も随所に挿入する。

2019:4./ 209p 978-4-89831-480-7 本体 ¥1,500+税

産経新聞 2019/05/26



東京笑芸ざんまい~わたしの芸能さんぽ~

高田 文夫 著

講談社

東京で生まれた人一倍大きなこの目玉で見たまんまを、ヤジ馬のたしかな目で書き残そう。高田文夫が東京発全国区の大衆芸能ヒストリーを綴った、「笑芸論」完結篇。 『小説現代』連載を単行本化。

朝日新聞 2019/05/04

2019:3./ 308p 978-4-06-514437-4 本体 ¥1,450+税



ジニのパズル(講談社文庫 ち 10-1)

崔実著

講談社

中学から朝鮮学校に通うことになったジニは、一人だけ朝鮮語ができず、なかなか居場所が見つけられない。1998年、テポドンが発射された翌日、ジニは警察を名乗る男たちに取り囲まれ…。

2019:3./ 202p 978-4-06-514764-1 本体 ¥590+税

朝日新聞 2019/05/04



科学と非科学~その正体を探る~(講談社現代新書 2513)

中屋敷 均 著

講談社

低線量被曝や残留農薬について、なぜ専門家は「大体、安全」としか言えないのか。 何が「真実」で何が「異端」なのか-。科学と非科学の間にある「薄闇」に光をあてたサイエンスエッセイ。『本』連載を加筆し書籍化。 2019:2./ 186p 978-4-06-515094-8 本体 ¥800+税

朝日新聞 2019/05/04



アイヌ文化で読み解く「ゴールデンカムイ」(集英社新書 0972)

中川 裕 著

集英社

漫画「ゴールデンカムイ」のアイヌ語監修者にしてアイヌ文化研究の第一人者が、言語・物語や信仰から食生活まで、漫画の名場面をふんだんに引用しながらアイヌ文化を解説する。原作者・野田サトルの描き下ろし漫画も収録。

2019:3./ 254p 978-4-08-721072-9 本体 ¥900+税

朝日新聞 2019/05/04



模範郷(集英社文庫 り2-1)

リービ英雄 著

集英社

1950 年代、6 歳から 10 歳まで台湾にいた「ぼく」。日・米・中・台の会話が交錯する旧日本人街「模範郷」。そこは間違いなく「ぼく」の故郷であり、根源であった-。半世紀を経て故郷・台湾を訪れる<時>の旅人の物語。

2019:3./ 179p 978-4-08-745850-3 本体 ¥540+税

朝日新聞 2019/05/04



騎士団長殺し<第1部[上]> 顕れるイデア編(新潮文庫 む-5-39)

村上 春樹 著

新潮社

私は狭い谷間の入り口近くの、山の上に住んでいた。夏には谷の奥の方でひっきりな しに雨が降ったが、谷の外側はだいたい晴れていた。それは孤独で静謐な日々であ るはずだった。騎士団長が顕れるまでは...。

2019:3./ 333p 978-4-10-100171-5 本体 ¥550+税

朝日新聞 2019/05/04



騎士団長殺し<第1部[下]> 顕れるイデア編(新潮文庫 む-5-40)

村上 春樹 著

新潮社

「私」の時間はねじれ、旋回し、反転する。不思議の国のアリス、上田秋成「春雨物語」、闇の奥でうごめく歴史の記憶、キャンバスの前に佇む美少女…。物語が豊かに連環する村上文学の結晶。

978-4-10-100172-2 本体 ¥550+税

2019:3./331p



騎士団長殺し<第2部[上]> 遷ろうメタファー編(新潮文庫 む-5-41)

村上 春樹 著

新潮社

肖像画のモデルとなった少女が山荘を訪れる。屋根裏に隠された絵と「私」の描いた絵…パズルのピースのように、4 枚の絵が 1 つの物語を浮かび上がらせる。やがて、山荘の持ち主の老画家をめぐる歴史の闇も明らかになるが…。

2019:4./ 334p 978-4-10-100173-9 本体 ¥550+税

朝日新聞 2019/05/04



騎士団長殺し<第2部[下]> 遷ろうメタファー編(新潮文庫 む-5-42)

村上 春樹 著

新潮社

「簡単なことだ。あたしを殺せばよろしい」と騎士団長は言った。「彼」が犠牲を払い、「私」が試練を受けるのだ。だが姿を消した少女の行方は...。「私」と少女は、ふたたび出会えるのか。

2019:4./ 373p 978-4-10-100174-6 本体 ¥630+税

朝日新聞 2019/05/04



昭和のエートス(文春文庫 う19-13)

内田 樹 著

文藝春秋

昭和 20 年 8 月 15 日という巨大な「断絶」を受け入れ、生き抜いた「昭和人」。彼らの 規範に則るならば、現代の日本はどのように映るのだろうか? 憲法、教育から、医療、 さらには音楽、映画、漫画までを鋭利に語るエッセイ。 2012:8./ 325p 978-4-16-783808-9 本体 ¥676+税

朝日新聞 2019/05/04



夏の坂道

村木 嵐 著

潮出版社

あの日、「総長演説」が敗戦国日本を蘇らせた-。学問と信仰で戦争に対峙した戦後 最初の東大総長・南原繁の生涯を描いた長編小説。『潮』連載を単行本化。 2019:3./ 406p 978-4-267-02166-4 本体 ¥1,900+税

朝日新聞 2019/05/04



非唯物論~オブジェクトと社会理論~

グレアム・ハーマン、上野 俊哉 著

河出書房新社

オブジェクトは非関係によって知られ、共生は非相互的、非対称的である-。オブジェクト指向存在論をかかげてこれまでの哲学の根底をゆるがすハーマンが、その思想の核心を凝縮させたマニフェスト的著作。

2019:3./ 202p,8p 978-4-309-24901-8 本体 ¥2,600+税

朝日新聞 2019/05/04



美しき瞬間~The Essence of Toshiko Okanoue~

岡上 淑子 著

河出書房新社

海を翔る性、苦悩のレダ、郷愁の罠、時を超える夢のしずく-。コラージュ作家岡上淑子の代表作と鮮やかな言葉が織りなす、精選作品集。武満浅香のインタヴュー、巖谷國士のエッセーも収録。

2019:2./ 95p 978-4-309-25620-7 本体 ¥1,900+税



ヨーロッパ現代史(ちくま新書 1400)

松尾 秀哉 著

筑摩書房

自国中心主義勢力が各国で拡大し、英独仏口による「大国の時代」が復活しつつあるヨーロッパ諸国。福祉国家の成立とその行き詰まりから、反 EU など現在の危機に至るまで、各国政治をベースにヨーロッパ現代史を描き出す。

2019:4./ 384p,12p 978-4-480-07222-1 本体 ¥1,100+税

朝日新聞 2019/05/04



「縄文」の新常識を知れば日本の謎が解ける(PHP 新書 1176)

関 裕二 著

PHP研究所

考古学の画期的な発見や DNA 分析の進歩により、「縄文」の常識が大きく覆っている。渡来人の影響は実はわずかであり、縄文人の暮らしは決して原始的ではなかった-。日本人の正体と日本文明の謎に迫る発見の書。

2019:3./ 202p 978-4-569-84242-4 本体 ¥840+税

朝日新聞 2019/05/04



言葉の国イランと私~世界一お喋り上手な人たち~

岡田 恵美子 著

平凡社

古くからさまざまな人々と交流してきたイランでは、弁舌は大切な能力。半世紀以上前にイランへ留学したペルシア文学研究の第一人者が体験を綴ったエッセイ。ペルシアの箴言なども収録する。『河北新報』ほか掲載を書籍化。

2019:3./ 260p 978-4-582-83800-8 本体 ¥2,500+税

朝日新聞 2019/05/04



「昭和」を送る

中井 久夫 著みすず書房

「ひととしての昭和天皇」を描いた表題作、『みすず』連載の「臨床再訪」、ユニークな論考「笑いの生物学を試みる」のほか、いじめ、3・11 後と震災、臨床引退後の日々などについて綴った文章を収録。

2013:5./ 5p,324p 978-4-622-07769-5 本体 ¥3,000+税

朝日新聞 2019/05/04



写真記録・三島由紀夫が書かなかった近江絹糸人権争議〜絹とクミアイ〜

本田 一成 著

新評論

1954 年に発生し 106 日間にわたって繰り広げられた日本最大級の労働争議「近江 絹糸人権争議」。全国規模の総力戦の経緯を、労組幹部の OB、OG へのインタビュ ーなどをもとに解き明かす。写真も多数収録。 2019:2./ 18p,203p 978-4-7948-1118-9 本体 ¥2,400+税

朝日新聞 2019/05/04



宗教なき時代を生きるために~オウム事件と「生きる意味」~ 完全版

森岡 正博 著

法蔵館

なぜ、生まれてきたのだろう-。オウム事件、尾崎豊の死。平成を象徴する事件を通して、いまなお色褪せることのない問いを突きつける。「まえがき」と「あとがき」を書き下ろした完全版。

2019:4./ 248p 978-4-8318-5706-4 本体 ¥2,200+税



金時鐘コレクション<8> 幼少年期の記憶から

金 時鐘 著

藤原書店

植民地下朝鮮から「在日」を生きぬく詩人であり思想家、金時鐘の思索の全てを集成。8 は、1970 年代の終わりから 90 年代の半ばにかけて綴った評論、エッセイを収録する。金石範の解説、細見和之の解題付き。

2018:4./ 416p 978-4-86578-168-7 本体 ¥3,200+税

朝日新聞 2019/05/04



天皇はいかに受け継がれたか~天皇の身体と皇位継承~

歴史学研究会 編

加藤 陽子 著

績文堂出版

歴史上、天皇の存在はいかに位置づけられ、継承の法式はどう変化し、天皇自身は 政治や社会の変化にいかに対応しようとしたのかについて、通史的・世界史的観点 から迫る。2018 年 4 月開催の東京大学でのシンポジウムの成果。 2019:2./ 18p,312p,13p 978-4-88116-134-0 本体 ¥2,800+税

朝日新聞 2019/05/04



すごいね!みんなの通学路~世界に生きる子どもたち~

西村書店

世界中の子どもたちはどうやって通学しているの? 地震や台風といった自然災害や、 川の急流、険しい山道にも負けず、学校に通う子どもたちの姿をとらえた写真絵本。 ノーベル平和賞受賞者マララさんの写真も収録。 2017:7./ 34p 978-4-89013-982-8 本体 ¥1,500+税

朝日新聞 2019/05/04



ものがたり西洋音楽史(岩波ジュニア新書 892)

近藤 譲著

岩波書店

西洋音楽は、いくつもの「異質な音楽」から成り立っている。中世から 20 世紀まで、前後の時代とのかかわりを意識しながら、それぞれの時代の音楽様式の特徴と特質を描きだす。クラシック音楽の歴史がわかる一冊。

2019:3./ 5p,280p,16p 978-4-00-500892-6 本体 ¥1,000+税

朝日新聞 2019/05/04、読売新聞 2019/05/26



団地と移民~課題最先端「空間」の闘い~

安田 浩一著

KADOKAWA

排外主義的なナショナリズムに世代間の軋轢、都市のスラム化、外国人居住者との共存共栄...。かつて「夢と希望の地」だった団地は、課題最先端「空間」となっていた! 日本各地に加えてテロ後のパリ郊外も取材した、団地ルポ。 2019:3./ 253p 978-4-04-101388-5 本体 ¥1,600+税

朝日新聞 2019/05/04、日本経済新聞 2019/05/11



PIXAR~世界一のアニメーション企業の今まで語られなかったお金の話~

ローレンス・レビー、井口 耕二 著

文響社

「トイ・ストーリー」のメガヒット、株式公開、ディズニーによる買収...。赤字のグラフィックス会社だった PIXAR を一大アニメーション企業に変身させた著者が、スティーブ・ジョブズと共に歩んだ 10 年余りの道のりを綴る。

2019:3./ 317p 978-4-86651-113-9 本体 ¥1,850+税

朝日新聞 2019/05/04、日本経済新聞 2019/05/25



シュテットル~ポーランド・ユダヤ人の世界~

エヴァ・ホフマン、小原 雅俊 著

みすず書房

国境近くの町・ブランスクからは、ひとりのユダヤ人もいなくなった-。ナチスの強制収 容所の多くが建設されたポーランド。シュテットル(小さな町)を通して、ポーランド人と ユダヤ人の間の波乱に満ちた関係の歴史を綴る。

2019:3./ 339p.11p 978-4-622-07792-3 本体 ¥5,400+税

朝日新聞 2019/05/04、毎日新聞 2019/05/12



超孤独死社会~特殊清掃の現場をたどる~

菅野 久美子 著

毎日新聞出版

孤独死、年間約3万人。救済の手立てはあるのか?孤独死など、凄惨な死の現場の 原状回復を手がける特殊清掃人のたちの生き様や苦悩をクローズアップしながら、生 と死、現代日本が抱える孤立の問題に向き合う。

2019:3./ 284p 978-4-620-32576-7 本体 ¥1,600+税

朝日新聞 2019/05/04、毎日新聞 2019/05/19



小津安二郎大全

松浦 莞二、宮本 明子 著

朝日新聞出版

未公開の小津安二郎直筆の絵画、写真など一次資料をはじめ、小津を直接知る監 督や俳優などのインタビュー、文化人の寄稿、全作品ディテール小事典等を収録す る。

2019:3./509p 978-4-02-251599-5 本体 ¥3,800+税

朝日新聞 2019/05/11



今昔百鬼拾遺 鬼(講談社タイガ キ C-01)

京極 夏彦 著

講談社

「昭和の辻斬り事件」の被害者・片倉ハル子は、自らの死を予見するような発言をして いた。ハル子の友人・呉美由紀から相談を受けた「稀譚月報」記者・中禅寺敦子は事 件の解明に乗り出すが...。期間限定特設サイト公開を文庫化。

2019:4./ 259p 978-4-06-294035-1 本体 ¥690+税

朝日新聞 2019/05/11



資本主義と闘った男~宇沢弘文と経済学の世界~

佐々木 実著

講談社

世界から称賛された気鋭の数理経済学者は、なぜ突然「長い沈黙」に入ったのか。経 済学の発展に寄与しながら、なぜ経済学を批判するようになったのか。「人々が平和 に暮らせる世界 | を追求した宇沢弘文の激動の生涯を描く。

2019:3./638p 978-4-06-513310-1 本体 ¥2.700+税

朝日新聞 2019/05/11



復興から自立への「ものづくり」~福島のおかあさんが作ったくまのぬいぐるみはな ぜパリで絶賛されたのか~

飛田 恵美子 著

小学館

東日本大震災の後、ものづくりを诵して立ち上がろうという動きが東北のあちこちで生 まれた。ウェブサイト『東北マニュファクチュール・ストーリー』で取材した 80 のものづく りの現場から、象徴的な21のプロジェクトを紹介。

978-4-09-388676-5 本体 ¥1,600+税

2019:3./271p



自然写真の平成30年とフォトグラファー~進化するネイチャーフォト~

日本自然科学写真協会 編

海野 和男、湊 和雄、中島 宏章、武田 晋一、森本 一宏、武田 康男、三宅岳、GOTO AKI、戸塚 学、石黒 久美、伊知地 国夫 著

978-4-09-682267-8 本体 ¥3,200+税

2019:4./ 239p

飛躍的にカメラが進歩したことで、自然写真に新しい表現が生まれ、また新しい写真家も多く生まれている。フィルムからデジタルへと移り変わる時代の自然写真家 250人と書籍350冊を紹介する。

朝日新聞 2019/05/11



すごい言い訳!~二股疑惑をかけられた龍之介、税を誤魔化そうとした漱石~

中川 越 著

新潮社

浮気を疑われている、生活費が底をついた、原稿が書けない...。人生最大のピンチを筆一本で乗り切った、文豪たちの奇想天外、痛快無比、空前絶後のすごい言い訳を紹介。

2019:3./ 253p 978-4-10-352441-0 本体 ¥1,600+税

朝日新聞 2019/05/11



統計学の日本史~治国経世への願い~

宮川 公男 著

東京大学出版会

日本の明治維新以後の近代史において、明治、大正、昭和、平成の 4 つの時代の 大きな転機に統計学は重要な関わりを持ってきた。統計学の源流を訪ねることで、現 代社会において統計学と統計の果たすべき役割を再考する。 2017:9./ 13p,269p,5p 978-4-13-043039-5 本体 ¥2,800+税

朝日新聞 2019/05/11



名も知らぬ夫~推理小説集~(光文社文庫 し47-1)

新章 文子、山前 譲 編

光文社

母とつましく暮らす市子のもとに、25 年前に音信を断った従兄の圭吉が訪ねてきた。 ほどなくふたりは結ばれるが、日を追って男の正体が明らかになり…。表題作など、繊細な心理描写が光るサスペンス全8編を収録。 2019:4./ 375p 978-4-334-77834-7 本体 ¥880+税

朝日新聞 2019/05/11



ミシェル・フーコー講義集成<7> 安全・領土・人口

ミシェル・フーコー 著

筑摩書房

20 世紀最大の思想家ミシェル・フーコーの、コレージュ・ド・フランスにおける講義の貴重な記録。「統治性」の系譜をキリスト教における「司牧」に遡り、国家の権力行使が領土支配から人口管理に移行する様を描く。

2007:6./ 514p,27p 978-4-480-79047-7 本体 ¥6,500+税



ゴーストライター(創元推理文庫 M オ 4-15)

キャロル・オコンネル、務台 夏子 著

東京創元社

上演中の芝居の脚本家が、客席で喉を?き切られて死んでいた。NY 市警のマロリー とライカーは捜査を開始するが、劇場の関係者は変人ぞろい。おまけにゴーストライタ ーなる人物が、日々勝手に脚本を書き換えていて...。

2019:3./ 558p 978-4-488-19519-9 本体 ¥1,480+税

朝日新聞 2019/05/11



歴史と統計学~人・時代・思想~

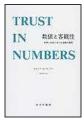
竹内 啓 著

日本経済新聞出版社

古代中国、ローマ帝国から説き起こし、ベイズ統計学の復活、ビッグデータ時代の課 題まで、2000年に及ぶ統計と統計学の軌跡を、論争、人間模様などのエピソードも 交えて興味深く解説する。『統計』連載に加筆し書籍化。

2018:7./ 8p,565p 978-4-532-13482-2 本体 ¥4,800+税

朝日新聞 2019/05/11



数値と客観性~科学と社会における信頼の獲得~

セオドア・M.ポーター、藤垣 裕子 著

みすず書房

なぜ「数字は正しい」のか。ギリスピーとクーンに学んだ科学史家が、19-20世紀イギリ スの保険数理士などの史実に即し、社会が数値化される過程を徹底追求。ひるがえ って自然科学にとっての数値化の意味を照射する。

2013:9./316p,74p 978-4-622-07781-7 本体 ¥6,000+税

朝日新聞 2019/05/11



小早川隆景・秀秋~消え候わんとて、光増すと申す~(ミネルヴァ日本評伝選)

光成 準治 著

ミネルヴァ書房

毛利元就の三男に生まれ、国衆小早川家を継承し、豊臣政権の中枢にまで上り詰め た隆景。天下人秀吉の養子から隆景の養子となり、関ケ原合戦での「裏切り」で汚名 を残した秀秋。疾風の如く変転した小早川家二代の実像を探る。

2019:3./ 19p,331p,13p 978-4-623-08597-2 本体 ¥3.500+税

朝日新聞 2019/05/11



基地と聖地の沖縄史~フェンスの内で祈る人びと~

山内 健治 著

吉川弘文館

沖縄の米軍基地に含まれる、墓や信仰の対象となる聖地。人びとは現在も米軍の許 可を得て、聖地で伝統行事を守り続ける。基地の内と外に存在する多くの神が、戦後 いかに祀られてきたのかをフィールドワークをもとに描く。

2019:2./ 5p,230p 978-4-642-08345-4 本体 ¥2.500+税

朝日新聞 2019/05/11



陰翳礼讃

谷崎 潤一郎、大川 裕弘 著 パイインターナショナル

日本の美学の底には「暗がり」と「翳り」がある-。日本人の暮らしの美学について、さま ざまな方向から論究した谷崎潤一郎の「陰翳礼讃」に、「空気を撮る名匠」大川裕弘 が写し撮った写真を添えたビジュアルブック。

朝日新聞 2019/05/11

2018:1./ 242p 978-4-7562-5012-4 本体 ¥1,900+税



アナザーユートピア~「オープンスペース」から都市を考える~

槇 文彦、真壁 智治 著

NTT出版

都市において人間の回復は可能か? 多彩な分野から示されたオープンスペースへの考察・試行・実践。 槇文彦の論考「アナザーユートピア」への応答を介して、次代へつなぐ都市論を展開する。

2019:3./ 16p,260p 978-4-7571-6077-4 本体 ¥2,700+税

朝日新聞 2019/05/11



日本アナキズム運動人名事典 増補改訂

日本アナキズム運動人名事典編集委員会 編ぱる出版

日本のアナキズム運動に直接関わった人物だけでなく、近代日本の民衆運動に大きな影響を与えた社会運動家や自由思想家、また台湾・朝鮮・中国などの活動家をも取り上げた事典。新たに3000余名の人物を立項。

2019:4./ 13p,1,290p 978-4-8272-1199-3 本体 ¥32,000+税

朝日新聞 2019/05/11



偶然を飼いならす~統計学と第二次科学革命~

イアン・ハッキング 著

木鐸社

印刷された数字の洪水をきっかけとして決定論の浸食が進み、結果として偶然の飼いならしが完成した過程を、19世紀の第二次科学革命の一翼を担う変化として論じた研究書。〈ソフトカバー〉

1999:5./ 353p 978-4-8332-2274-7 本体 ¥4,500+税

朝日新聞 2019/05/11



戦後日本の道徳教育の成立~修身科の廃止から「道徳」の特設まで~

佟 占新 著

六花出版

戦後、道徳教育はいかに行うべきと考えられたのか。教育方法の視点を取り入れて、 新聞や雑誌など広く史料を分析し、戦後日本における道徳教育の成立過程を考察 する。カヴァーそでに視覚障害者向けのテキストデータ請求券付き。 2019:2./ 9p,212p 978-4-86617-077-0 本体 ¥4,200+税

朝日新聞 2019/05/11



純血種という病~商品化される犬とペット産業の暗い歴史~

マイケル・ブランドー、夏目 大著

白揚社

多くの純血種の犬が遺伝性障害に苦しんでいる。私たちは、犬にいったい何をしてきたのか?純血種の犬に関わる人間の俗物根性、消費主義に真正面から取り組み、デザイナードッグの問題や、愛犬趣味の歴史などについても記す。

2019:3./ 365p 978-4-8269-9061-5 本体 ¥2,600+税

朝日新聞 2019/05/11、日本経済新聞 2019/05/18



科学する心

池澤 夏樹 著

集英社インターナショナル

大学で物理学を学び、作品に科学的題材を織り込んできた池澤夏樹。「科学する心」を持ち続けた作家が、人工知能、進化論、永遠と無限、日常の科学などを「文学的まなざし」を保ちつつ考察する。『考える人』等連載を単行本化。

朝日新聞 2019/05/11、毎日新聞 2019/05/19

2019:4./ 261p 978-4-7976-7372-2 本体 ¥1,800+税



落梅の賦

武川 佑 著

講談社

戦国最強・武田家の落日。家を滅ぼす二人の裏切者が出る。一人は、信玄の腹違いの弟、武田上野介信友。そして、一門衆筆頭、穴山梅雪。「武田の海」を任された二人は、なぜ「亡国の徒」となり、悲劇の幕を上げたのか-。

2019:4./ 291p 978-4-06-513430-6 本体 ¥1,650+税

朝日新聞 2019/05/12



ヒト夜の永い夢(ハヤカワ文庫 JA 1373)

柴田 勝家 著

早川書房

昭和2年。超心理学者の福来友吉に誘われ、学者たちの秘密団体「昭和考幽学会」に加わった、稀代の博物学者・南方熊楠。新天皇即位の記念行事のため、粘菌コンピュータにより思考する自動人形を作るが…。一大昭和伝奇ロマン。

2019:4./ 573p 978-4-15-031373-9 本体 ¥1,000+税

朝日新聞 2019/05/12



巨星~ピーター・ワッツ傑作選~(創元 SF 文庫 SF ワ 3-5)

ピーター・ワッツ、嶋田 洋一 著

東京創元社

10 億年以上任務を続けるワームホール構築船と、直径 2 億 km の巨大宇宙生命体との皮肉な邂逅を描く「島」、意識を与えられた軍用ドローンの進化の果てを AI の視点から描いた「天使」...。全 11 編を収録した短編集。

2019:3./ 366p 978-4-488-74605-6 本体 ¥1,200+税

朝日新聞 2019/05/12



リラと戦禍の風

上田 早夕里 著

KADOKAWA

愚かで愛おしい人類の歴史に関わりつづける不死の「伯爵」と居場所を失った少女リラ。大戦中、彼らの運命に巻き込まれた兵士イェルクは、やがて世界を変える夢を見る-。歴史ファンタジー。『文芸カドカワ』連載に加筆。

2019:4./ 484p 978-4-04-107413-8 本体 ¥1,950+税

朝日新聞 2019/05/12、読売新聞 2019/05/19



郝景芳短篇集(エクス・リブリス)

郝 景芳 著

白水社

注目の中国 SF 作家による短篇小説集。ヒューゴー賞受賞「北京 折りたたみの都市」 ほか、社会格差や高齢化、エネルギー資源、医療問題、都市生活者のストレスなど、 中国社会を映しだす全 7 篇を収録。 2019:3./ 256p 978-4-560-09057-2 本体 ¥2,400+税

朝日新聞 2019/05/12、毎日新聞 2019/05/26



不登校でも大丈夫(岩波ジュニア新書 881)

末富 晶 著

岩波書店

「不登校児だった過去は幸福な人生につながる必要な時間だった」 小 3 から約 7 年間を不登校児として過ごし、現在はエッセイスト・生け花アーティストとして活動する著者が、生き難さを抱える子ども達に自身のこれまでを語る。

978-4-00-500881-0 本体 ¥800+税

2018:8./ 9p,178p



はたらくすすむ<1>(ヤンマガ KC スペシャル)

安堂 ミキオ 著

講談社

定年退職後、妻に先立たれ、茫然とした日々を送る長谷部進。一緒に暮らす娘・美 織に煙たがられたことをきっかけに、清掃員のアルバイトに応募するが...、そこは風俗 店だった!定年新人アルバイトのチャレンジ、はじまる!

2019:4./ 192p 978-4-06-515202-7 本体 ¥630+税

朝日新聞 2019/05/18



日めくり31日カレンダー 永遠に伝えたい美智子さまのお心

講談社

美智子さまご退位にあたりテレビ、新聞でも話題!新天皇即位・改元にあたり、これま での美智子さまの功績やお言葉を若かりし頃の講談社のオリジナルの写真 39 点とと もに振り返ります。

2019:3./ 17p 978-4-06-515244-7 本体 ¥1,400+税

朝日新聞 2019/05/18



善く死ぬための身体論(集英社新書 0973)

内田 樹、成瀬 雅春 著

集英社

緊張と不安の時代に、「善く死ぬ」とはどういうことか? 武道、呼吸、瞑想からヒマラヤ での修業まで、さまざまなエピソードを通じて、武道家にして思想家の内田樹と、ヨー ガの大家・成瀬雅春が死について縦横無尽に語り合う。

2019:4./ 249p 978-4-08-721073-6 本体 ¥860+税

朝日新聞 2019/05/18



思い出の作家たち~谷崎・川端・三島・安部・司馬~(新潮文庫 き-30-5)

ドナルド・キーン 著

新潮社

「細雪」の秘密を語る谷崎の思い出。川端の前衛主義者としての意外な横顔。自決直 前の三島から受け取った手紙。安部や司馬とののびやかな友情...。珠玉の追想集に して稀有なる文学論。

2019:5./ 187p 978-4-10-131355-9 本体 ¥430+税

朝日新聞 2019/05/18



食の実験場アメリカ~ファーストフード帝国のゆくえ~(中公新書 2540)

鈴木 诱 著

中央公論新社

先住インディアン、黒人奴隷、各国の移民らの食文化が融合したアメリカの食。そこか ら独自の食文化が形成されたが、画一化されたファーストフードや肥満という問題も 引き起こした。食から移民大国の歴史と現在を読む。

2019:4./ 6p,257p 978-4-12-102540-1 本体 ¥880+税

朝日新聞 2019/05/18



内なる辺境/都市への回路(中公文庫 あ 18-5)

安部 公房 著

中央公論新社

現代の異端の本質を考察した連作エッセイ「内なる辺境」、芸術観のすべてを語った 「都市への回路」。前衛作家の創造の核心を知りうる好著の合本。著者撮影の写真も 多数掲載する。

2019:4./ 345p 978-4-12-206437-9 本体 ¥1,000+税



宅地崩壊~なぜ都市で土砂災害が起こるのか~(NHK 出版新書 582)

釜井 俊孝 著

NHK出版

豪雨や地震による都市域での土砂災害は、天災なのか?斜面防災の第一人者が、 戦後の宅地開発の背景と災害調査から、日本の宅地が抱える危機を浮き彫りにす る。 2019:4./ 263p 978-4-14-088582-6 本体 ¥900+税

朝日新聞 2019/05/18



そして、バトンは渡された

瀬尾 まいこ 著

文藝春秋

血の?がらない親の間をリレーされ、4回も名字が変わった森宮優子、17歳。父親が3人、母親が2人。だけどいつでも両親を愛し、愛されていた-。身近な人が愛おしくなる、優しい物語。

2018:2./ 372p 978-4-16-390795-6 本体 ¥1,600+税

朝日新聞 2019/05/18



レオナルド・ダ・ヴィンチ<上>

ウォルター・アイザックソン、土方 奈美 著

文藝春秋

科学者であり、軍事顧問であり、舞台演出家だった。光学、幾何学、解剖学などの点と点を結ぶ芸術家であり、人類史上初めて現れたイノベーターだった-。レオナルド・ダ・ヴィンチの生涯とその天才性を、自筆ノートを基に描く。

2019:3./ 389p 978-4-16-390999-8 本体 ¥2,200+税

朝日新聞 2019/05/18



レオナルド・ダ・ヴィンチ<下>

ウォルター・アイザックソン、十方 奈美 著

文藝春秋

科学者であり、軍事顧問であり、舞台演出家だった。光学、幾何学、解剖学などの点と点を結ぶ芸術家であり、人類史上初めて現れたイノベーターだった-。レオナルド・ダ・ヴィンチの生涯とその天才性を、自筆ノートを基に描く。

2019:3./ 341p 978-4-16-391000-0 本体 ¥2,200+税

朝日新聞 2019/05/18



素顔の美智子さま~11人が語る知られざるエピソード~

つげ のり子、山下 晋司 著

河出書房新社

天皇陛下を支え、国民に寄り添い、平和と幸福を祈り続けた皇后美智子さま。美智子さまと交流してきた様々な分野の 11 人に綿密な取材を行い、愛と慈しみの象徴の実像にせまる。

2019:3./ 209p 978-4-309-02786-9 本体 ¥1,500+税

朝日新聞 2019/05/18



パートタイム・デスライフ

中原 昌也 著河出書房新社

パートタイムで働く男が職場から逃亡した。正体不明の暴力が次々と彼に襲いかかり …。絶望を生きる男の悲劇的な人生を笑いとともに描く。『ちくま』連載を単行本化。 巻末に「中原昌也の世界」を収録。

朝日新聞 2019/05/18

2019:3./ 161p,8p 978-4-309-02789-0 本体 ¥2,200+税



私がオバさんになったよ

ジェーン・スー、光浦 靖子、山内 マリコ、中野 信子、田中 俊之、海野 つなみ、 宇多丸、酒井 順子、能町 みね子 著 幻冬舎

本体 ¥1,400+税

978-4-344-03441-9

2019:3./ 269p

人生、折り返してからの方が楽しいってよ! ジェーン・スーと光浦靖子、山内マリコ、酒 井順子、能町みね子ら、わが道を歩く8人が、「いま」を語り尽くす。『小説幻冬』連載 を加筆し書籍化。

朝日新聞 2019/05/18



資本主義と民主主義の終焉~平成の政治と経済を読み解く~(祥伝社新書 570)

水野 和夫、山口 二郎 著

祥伝社

見えてきたのは、日本が資本主義を"卒業"していく過程であり、政治が大きく変質・ 劣化していく様だった-。 平成 31 年間を 6 つの時代に分けて分析。 そのうえで平成を 総括し、今後を予測・提言する。

2019:5./ 258p 978-4-396-11570-8 本体 ¥840+税

朝日新聞 2019/05/18



三度目の日本~幕末、敗戦、平成を越えて~(祥伝社新書 571)

堺屋 太一著

祥伝社

豊かな日本から楽しい日本へ。直面する危機を克服し、新たな価値観で大転換期を 乗り越えていくにはどうしたらよいのか。多くの著作で予測を的中させてきた堺屋太一 が、日本のあるべき未来を描く。最後の提言。

2019:5./ 195p 978-4-396-11571-5 本体 ¥800+税

朝日新聞 2019/05/18



感情の正体~発達心理学で気持ちをマネジメントする~(ちくま新書 1402)

渡辺 弥生 著

筑摩書房

感情というものはいったい何なのか。人間の発達とともにどのように育まれるのか。世 界の最先端研究から感情の正体に迫り、効果的なマネジメントの技術を豊富に紹介 する。職場や学校、家庭で実践できるテクニックが満載。

2019:4./ 262p 978-4-480-07218-4 本体 ¥860+税

朝日新聞 2019/05/18



グリーンスパン~何でも知っている男~

セバスチャン・マラビー、村井 浩紀 著

日本経済新聞出版社

「何でも知っている男」グリーンスパンは、なぜ危機の発生を防ぐために行動しなかっ たのか? アメリカの中央銀行、連邦準備理事会(FRB)議長グリーンスパンの人生と時 代を描き、中央銀行の本質的な課題を明らかにする。

2019:3./ 902p 図版 24p 978-4-532-17656-3 本体 ¥5,800+税

朝日新聞 2019/05/18



イタリアン・セオリーの現在

ロベルト・テッロージ、柱本 元彦 著 平凡社

フランス現代思想との連続と独自の政治哲学的伝統の交点にある現代イタリア哲学。 世界に衝撃を与えたイタリアン・セオリーを論じると共に、それに先行するポストモダン

の哲学、アカデミズムの哲学の特徴と主な潮流を考察。

2019:3./ 481p 978-4-582-70347-4 本体 ¥4,200+税



学校に行きたくない君へ~大先輩たちが語る生き方のヒント。~

全国不登校新聞社 編

ポプラ社

生き続けなきゃもったいない! 不登校の若者たちが体当たりで引き出した、樹木希林 をはじめとする人生の先輩たち 20 名の本音のインタビュー集。『不登校新聞』掲載記 事を加筆修正し、書き下ろしを加える。

2018:8./ 254p 978-4-591-15966-8 本体 ¥1,400+税

朝日新聞 2019/05/18



降りつむ~皇后陛下美智子さまの英訳とご朗読~

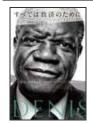
宮内庁侍従職、毎日新聞出版 編

毎日新聞出版

皇后陛下美智子さまが長年取り組まれてきた詩や御歌の英訳とご朗読の世界を紹 介。皇后さまの英訳された詩と御歌のほか、「降りつむ」の楽譜も掲載する。皇后さま のご朗読映像を収録した DVD 付き。

2019:2./ 102p 978-4-620-32535-4 本体 ¥2,500+税

朝日新聞 2019/05/18



すべては救済のために~デニ・ムクウェゲ自伝~

デニ・ムクウェゲ、ベッティル・オーケルンド、加藤 かおり 著 あすなろ書房

コンゴでは女性への性暴力が最大の武器になっている-。紛争が続くコンゴ東部で、 何度も死の危険にさらされながらも、性暴力被害女性の支援に取り組み、そして国際 社会を動かした産婦人科医の自伝。

2019:4./ 295p 978-4-7515-2935-5 本体 ¥1,600+税

朝日新聞 2019/05/18



世界の美しい学校

パイインターナショナル 著 パイインターナショナル

ゴシック様式のレンガ造りの校舎を彩る吉野桜が有名なワシントン大学、メイン・キャン パスの背後にデビルズピークがそびえるケープタウン大学...。世界各国の美しい校 舎と景観 100 を紹介する。

2019:4./ 189p 978-4-7562-5191-6 本体 ¥1,850+税

朝日新聞 2019/05/18



平成新語 出どこはどこ?~平成を象徴する言葉の「起源」!~

中村 三郎 著

柏書房

オタク、ゆるキャラ、どや顔、逆ギレ、下流社会...。はじめて使われたのはいつ?誰が 言った? 平成に入って社会に定着し、日常的に使われるようになった「新語」を取り上 げ、意味だけではなく「出どこ」についても解説する。

2019:4./ 253p 978-4-7601-5099-1 本体 ¥1.600+税

朝日新聞 2019/05/18



奴隷労働~ベトナム人技能実習生の実態~

巣内 尚子 著

花伝社

仲介ビジネスの横行、渡航前費用の多額の借金、低賃金、長時間労働、暴力、劣悪 な住居環境、日本の受け入れ企業での人権侵害...。詳細な聞き取りで、急増するべ

トナム人技能実習生の驚くべき現状を明らかにする。

2019:3./ 271p 978-4-7634-0880-8 本体 ¥2,000+税



国境の医療者

メータオ・クリニック支援の会 編 渋谷 敦志 著 新泉社

新泉社 タイ・ミャンマー国境の町で、難民・移民に無償診療を提供する「メータオ・クリニッ

2019:4./ 355p 978-4-7877-1902-7 本体 ¥1,900+税

朝日新聞 2019/05/18



酒を食べる~エチオピア・デラシャを事例として~

き、成長し、交流と支援を続けた日々を綴る。

砂野 唯著

昭和堂

酒を主食とする文化が存在するエチオピアのデラシェ地域。集団維持に正しい判断がされるのか、混乱や間違いは起きないか。14 ケ月のフィールドワークをもとに、その食と文化に迫る。

ク」。そこへ国際ボランティアとして赴任した日本の医療従事者たちが、戸惑い、傷つ

2019:4./ 6p,203p,13p 978-4-8122-1827-3 本体 ¥4,800+税

朝日新聞 2019/05/18



国別世界食文化ハンドブック

ヘレン・C.ブリティン、小川 昭子、海輪 由香子、八坂 ありさ 著 柊風舎

世界 195 か国のそれぞれの食べ物と食文化に関する具体的な情報を網羅。各国の地理、民族、宗教、食文化への影響や、典型的な料理、特別な食事、ストリートフードなどを紹介する。見返しに世界地図あり。

2019:3./ 6p,533p 978-4-86498-062-3 本体 ¥12,000+税

朝日新聞 2019/05/18



学校は行かなくてもいい〜親子で読みたい「正しい不登校のやり方」〜

小幡 和輝 著

健康ジャーナル社

不登校で何かマズイことでもある? 不登校から高校生社長になった著者が、「学校に行かないという選択肢があること」と「正しい不登校のやり方」を伝える。みんなの不登校体験談、マンガも収録。

2018:7./ 152p 978-4-907838-90-4 本体 ¥1,200+税

朝日新聞 2019/05/18



特薦いいビル 国立京都国際会館(別冊月刊ビル)

BMC、西岡 潔 著

大福書林

建築家・大谷幸夫の設計によって 1966 年 5 月に開館した国立京都国際会館。高度 経済成長期の過剰な情熱がなしとげた世紀の大建築のメインロビーから会議場、家 具、照明までを、豊富な写真で紹介する。 2019:4./ 160p 978-4-908465-09-3 本体 ¥2,200+税

朝日新聞 2019/05/18



レンタルなんもしない人のなんもしなかった話

レンタルなんもしない人 著

晶文社

2018 年 6 月に「レンタルなんもしない人」というサービスがスタートした時から半年間の出来事を、ほぼ時系列で紹介する。本当になんもしないのに次々に起こる、ちょっと不思議でこころ温まるエピソードが満載。

F間 **||||||||||** まつ

978-4-7949-7083-1 本体 ¥1,300+税

2019:4./ 245p

朝日新聞 2019/05/18、日本経済新聞 2019/05/25



夜のリフレーン

皆川 博子、日下 三蔵 編

KADOKAWA

秘めた熱情、封印された記憶、日常に忍び寄る虚無感…。初期の作品から現在までの単行本未収録作品を精選した 24 篇を収録。皆川博子の物語世界の多彩さと奥深さを堪能できる贅沢な作品集。

2018:10./ 293p 978-4-04-107226-4 本体 ¥1,900+税

朝日新聞 2019/05/25



逃げ出せなかった君へ

安藤 祐介 著 KADOKAWA

ブラック企業に入社した 3 人の同期。久しぶりに深夜の居酒屋で人間らしく笑い合った 3 人だったが、極悪上司に目を付けられ過酷な追い込みにあった夏野は…。命と仕事の 6 つの物語。『小説野性時代』掲載と書き下ろしを収録。

2019:3./ 301p 978-4-04-107945-4 本体 ¥1,600+税

朝日新聞 2019/05/25



古琉球~海洋アジアの輝ける王国~(角川選書 616)

村井 章介 著

KADOKAWA

世界に開かれていたのは日本ではなく「琉球」だった! 古琉球の時代の歴史と文化を、中国など近隣諸国に残る史料等から総合的に検証。同時代のアジア世界の歴史の在り方に境界史から光をあて、その全体像に新たな視角を拓く。

2019:3./ 413p 978-4-04-703579-9 本体 ¥2,200+税

朝日新聞 2019/05/25



巨大ブラックホールの謎~宇宙最大の「時空の穴」に迫る~(ブルーバックス B-2011)

本間 希樹 著

講談社

一般相対性理論による理論的裏付けから 1 世紀、「ブラックホール」という命名から半世紀、人類はついに「黒い穴」を直接見る力を手に入れようとしている・。最新望遠鏡が解き明かす巨大ブラックホールの謎を第一人者が解説。

2017:4./ 270p 978-4-06-502011-1 本体 ¥1,000+税

朝日新聞 2019/05/25



竜は動かず〜奥羽越列藩同盟?末〜<上> 万里波濤編(講談社文庫 う57-30)

上田 秀人 著

講談社

仙台の下級藩士の家に生まれ、江戸で学問を積むために逐電した玉虫左太夫。やがて頭角をあらわし、遣米使節としてポーハタン号に新見豊前守の従者として乗り込んだ左太夫は、見知ったことを懸命に記録していった...。

2019:5./ 423p 978-4-06-513601-0 本体 ¥820+税

朝日新聞 2019/05/25



竜は動かず~奥羽越列藩同盟?末~<下> 帰郷奔走編(講談社文庫 う57-31)

上田 秀人 著

講談社

勝海舟、坂本龍馬らとの交流を経て、郷里仙台へ戻った左太夫。だが倒幕のうねりは、いよいよ奥州に迫り来た。新政府軍からも列強からも奥州は守らねばならぬ。この国の明日のため、左太夫は奔走する!

2019:5./ 421p 978-4-06-513602-7 本体 ¥820+税



リノベーション名建築の旅~古いのに新しい!~

常松 祐介 著

講談社

戦前の洋館、レンガ造の紡績工場...。日本全国のリノベーション建築から 22 例を厳 選。豊富な写真と図版、専門家ならではの深堀り解説とともに紹介する。取り上げた 以外の50の事例や、用語集も収録。

2019:5./ 191p 978-4-06-514990-4 本体 ¥1,900+税

朝日新聞 2019/05/25



夜のアポロン

皆川 博子、日下 三蔵 編

早川書房

ひと夏の恋に溺れたサーカス団の青年は、恋人の胸に電極を?いだ。一方、彼にひた むきな想いを寄せる同じ団の娘は、彼に一世一代の罠を仕掛け...。表題作をはじ め、単行本未収録のミステリ全 16 篇を収録した短篇集。

2019:3./ 413p 978-4-15-209850-4 本体 ¥2,200+税

朝日新聞 2019/05/25



くせものの譜(文春文庫 み 59-1)

簑輪 諒著

文藝春秋

仕えた家が皆滅ぶため「厄神」と呼ばれ忌み嫌われた武田の遺臣・御宿勘兵衛。己 の夢と覚悟を貫いた依田信蕃や久世但馬守など、武田家滅亡から大坂の陣まで、勘 兵衛が仕えたくせものたちの物語。

2019:5./ 399p 978-4-16-791278-9 本体 ¥920+税

朝日新聞 2019/05/25



嵐をしずめたネコの歌

アントニア・バーバー、ニコラ・ベイリー、おびか ゆうこ 著

徳間書店

ある年の冬、「嵐の大ネコ」があばれて海が荒れました。年をとった漁師と暮らすネコ のモーザーにだけ、その姿が見えていて...。イギリスの小さな漁村の伝説をもとにし た、勇気あるネコと漁師の心あたたまる物語。

2019:3./62p 978-4-19-864827-5 本体 ¥1,700+税

朝日新聞 2019/05/25



あまがえるのかくれんぼ(世界文化社のワンダー絵本)

たての ひろし、かわしま はるこ 著

世界文化社

あまがえるのラッタ、チモ、アルノーがかくれんぼをして遊んでいると、ラッタの体が変 な色になっていました。一体どうしたのでしょうか。絵本作家・舘野鴻と生物画家・かわ しまはるこによる、愛しき小さな者たちの成長の物語。

2019:5./ 1 冊(ページ 付なし) 978-4-418-19808-5 本体 ¥1,200+税

朝日新聞 2019/05/25



アウシュヴィッツの巻物証言資料

ニコラス・チェア、ドミニク・ウィリアムズ、二階 宗人 著 みすず書房

選別されたユダヤ人<ゾンダーコマンド>の労働によって稼動していたナチのガス室。 遺体の焼却や処理、清掃など「地獄」の労働を担わされた彼らがひそかに書き、死後

の発見を願って地中に埋めた文書の全貌を詳しく考察する。

2019:5./ 322p,78p 978-4-622-08703-8 本体 ¥6,400+税



某には策があり申す~島左近の野望~(ハルキ文庫 や16-1)

谷津 矢車 著

角川春樹事務所

筒井順慶の重臣だった島左近は、順慶亡き後、筒井家とうまくいかず出奔。豊臣秀長、蒲生氏郷の客将として活躍したのち、運命の石田三成と出会い、天下を二分する関ケ原で壮絶な戦いに挑む。

2019:5./ 415p 978-4-7584-4261-9 本体 ¥820+税

朝日新聞 2019/05/25



アブラ・カダブラ・カタクリコ

きたむら さとし 著

BL出版

さあ、みんな。まほうが使えるウサギのハティーのまほうのはじまりだよ。「アブラカダブラカタクリコ」ととなえると、ぼうしの中からネコが出てきた! 次はリス、その次はタコが出てきた。 さらにまほうの言葉をとなえると...。

2019:4./ 32p 978-4-7764-0895-6 本体 ¥1,300+税

朝日新聞 2019/05/25



ブラックホール戦争~スティーヴン・ホーキングとの20年越しの闘い~

レオナルド・サスキンド 著

日経BP社

ブラックホールへ落ち込んだ「情報」はどうなるのか?「失われる」とするスティーヴン・ホーキング陣営と、「失われない」と主張するサスキンドやトフーフト陣営の 20 年以上に及ぶ理論的対決の物語。

2009:10./ 551p 978-4-8222-8365-0 本体 ¥2,400+税

朝日新聞 2019/05/25



長崎の痕(きずあと)~大石芳野写真集~

大石 芳野 著

藤原書店

戦後 70 年以上、想像を絶する心身の傷を抱いてきた被爆者たち。その記憶に向き合い、失われた命に目を凝らす-。20 年にわたり長崎の被爆者を撮り続けてきた写真家・大石芳野による、渾身の 221 枚を収録する。

2019:3./ 287p 978-4-86578-219-6 本体 ¥4,200+税

朝日新聞 2019/05/25



三船敏郎の映画史(叢書・20世紀の芸術と文学)

小林 淳、三船プロダクション 著

アルファベータブックス

不世出の大スター、黒澤映画の象徴、世界のミフネ。「銀嶺の果て」「酔いどれ天使」 「用心棒」…。デビューから最晩年までの全出演映画を通して、映画俳優・三船敏郎 の足跡を描く。室田明が綴る思い出、映画作品リストも収録。 2019:4./ 453p,16p 978-4-86598-063-9 本体 ¥3,500+税

朝日新聞 2019/05/25



ブラックホールに近づいたらどうなるか?

二間瀬 敏史 著

さくら全

宇宙の中のブラックホール、ブラックホールと量子重力理論とのかかわりなど、ブラックホールにまつわるさまざまな話題を、その歴史から最先端の話題までやさしく解説する。

978-4-906732-65-4 本体 ¥1,500+税

2014:2./ 230p



外国人労働者・移民・難民ってだれのこと?

内藤 正典 著

集英社

世界の動きとは反対に、外国人労働者に門戸を開放した日本政府。外国人労働者、移民、難民はどう違うのか。彼らとどう接したらいいのか。国境線を越えて人が動くことの影響を、わかりやすく解説する。

2019:3./ 253p 978-4-08-781672-3 本体 ¥1,600+税

朝日新聞 2019/05/25、東京・中日新聞 2019/05/26



たてがみの摑み方~俳人・武藤紀子に迫る~

武藤 紀子、橋本 小たか 著 ふらんす堂

初心のころのこと、師匠や俳友との関わりのこと、3 冊の句集のこと、俳句の作り方...。 俳句結社「円座」の主宰、武藤紀子に弟子が迫る。2013 年 9 月?2016 年 12 月のイン タビューを書籍化。 2019:4./ 163p 978-4-7814-1168-2 本体 ¥2,300+税

朝日新聞 2019/05/26



ふたたび?の声

内村 光良 著 小学館

50 歳を目前に控えた役者、進。最近ようやく順調に仕事が入るようになったが、家庭内で居心地の悪さを感じるようになり…。翻弄され、迷いながらも家族や人生と向き合い、懸命に生きる人々を描いた群像小説。

2019:3./ 303p 978-4-09-386535-7 本体 ¥1,600+税

東京・中日新聞 2019/05/05



無目的な思索の応答~往復書簡~

又吉 直樹、武田 砂鉄 著朝日出版社

慣れ合いや戦略や俯瞰から遠く離れて、記憶を掘り起こし、違和感を継ぎ足し、書くことについて考える-。「言葉への態度」をめぐる、又吉直樹と武田砂鉄の応答の軌跡。『東京新聞』『中日新聞』掲載に加筆・修正。

2019:3./ 121p 978-4-255-01108-0 本体 ¥1,500+税

東京・中日新聞 2019/05/05



本をつくる~書体設計、活版印刷、手製本-職人が手でつくる谷川俊太郎詩集~

鳥海 修、高岡 昌生、美篶堂、本づくり協会、永岡 綾 著 河出書房新社

一篇の詩のために書体設計士が文字をつくり、詩人が言葉を紡ぎ、それを組版工が組んで活版印刷し、製本職人が手作業で仕上げる-。谷川俊太郎詩集「私たちの文字」ができるまでの記録。詩集に傾ける思いや願い、迷い等も綴る。

2019:2./ 225p 978-4-309-25627-6 本体 ¥1,850+税

東京:中日新聞 2019/05/05



現代文学は「震災の傷」を癒やせるか~3・11 の衝撃とメランコリー~

千葉 一幹 著

ミネルヴァ書房

高橋源一郎、川上弘美といった作家は、震災をどう描いたか。宮沢賢治は、最愛の妹トシの死にどう向き合ったか。死者と生者との間の交流あるいは断絶を通じ、災害や死との作家たちの格闘の様を描く。『文學界』等掲載を書籍化。

2019:3./ 16p,252p,5p 978-4-623-08587-3 本体 ¥3,000+税

東京・中日新聞 2019/05/05、産経新聞 2019/05/12



生還

小林 信彦 著 文藝春秋

自宅で脳梗塞を起こした 84 歳の私。入院・転院・リハビリ・帰宅・骨折・再入院…。私 は本当に治癒してゆくのだろうか? 脳梗塞から生還した小林信彦が綴る文学的闘病 記。『週刊文春』連載を書籍化。 2019:3./ 193p 978-4-16-390988-2 本体 ¥2,000+税

東京・中日新聞 2019/05/12



ニッポン制服百年史~女学生服がポップカルチャーになった!~(らんぷの本)

内田 静枝、森 伸之 著

河出書房新社

平成は制服の時代だった!? 1919 年に日本にやってきた女学生服が、コギャル文化を生みだし、「Seifuku」になるまでの百年をたどる。2019 年 4?6 月開催の弥生美術館企画展の内容を書籍化。

2019:3./ 159p 978-4-309-75036-1 本体 ¥1,850+税

東京・中日新聞 2019/05/12



1964 東京五輪ユニフォームの謎~消された歴史と太陽の赤~(光文社新書 1001)

安城 寿子 著

光文社

1964年の東京オリンピックで日本選手団が着ていた「日の丸カラー」の開会式用ユニフォームは、誰がデザインしたのか? 気鋭の服飾史家が、闇に葬り去られようとしたユニフォーム誕生の歴史を豊富な史料と取材で紐解く。

2019:4./ 283p 図版 16p 978-4-334-04408-4 本体 ¥880+税

東京・中日新聞 2019/05/12



森瑤子の帽子

島崎 今日子 著

幻冬舎

スノッブな女として生きた作家・森瑤子は、何のために書き続けたのか。 五木寛之、山田詠美ら数多の証言から、成功を手にした女の煌めきと孤独、彼女が駆け抜けたバブル時代を照射する。 『小説幻冬』連載に書き下ろしを追加。

2019:2./ 383p 978-4-344-03434-1 本体 ¥1,700+税

東京・中日新聞 2019/05/12



父が娘に語る美しく、深く、壮大で、とんでもなくわかりやすい経済の話。

ヤニス・バルファキス、関 美和 著

ダイヤモンド社

元ギリシャ財務大臣の父が 10 代半ばの娘に向けて、シンプルかつ心に響く言葉で経済について語った本。格差、市場社会の誕生、金融の役割や資本主義の歴史と功罪を、小説や SF 映画などの例を挙げながら平易な言葉で説く。

2019:3./ 246p 978-4-478-10551-1 本体 ¥1,500+税

東京・中日新聞 2019/05/12



山海記

佐伯 一麦 著

講談社

東北の震災後、水辺の災害の歴史と記憶を辿る旅を続ける彼は、その締めくくりに震災と同じ年に土砂災害に襲われた紀伊半島に向かう…。現代日本における私小説の名手による長編小説。『群像』連載を単行本化。

東京・中日新聞 2019/05/12、日本経済新聞 2019/05/18、毎日新聞 2019/05/19

2019:3./ 262p 978-4-06-514994-2 本体 ¥2,000+税



渦~妹背山婦女庭訓魂結び~

大島 真寿美 著

文藝春秋

江戸時代、芝居小屋が立ち並ぶ大坂道頓堀。虚実の渦を作り出した、もう一人の近松がいた…。浄瑠璃作者・近松半二の生涯を描いた、著者初の時代小説。『オール讀物』連載を単行本化。

2019:3./ 361p 978-4-16-390987-5 本体 ¥1,850+税

東京・中日新聞 2019/05/19



ユダヤ商人と貨幣・金融の世界史

宮崎 正勝 著

原書房

亡国の民となったユダヤ人が、マイノリティながら世界の金融を動かしてこられたのはなぜか。貨幣・金融のスペシャリスト「ユダヤ商人」「宮廷ユダヤ人」を主役に据えて、世界の貨幣と金融の流れを描く。

2019:3./ 326p 978-4-562-05646-0 本体 ¥2,500+税

東京・中日新聞 2019/05/19



「舞姫」の主人公をバンカラとアフリカ人がボコボコにする最高の小説の世界が明治 に存在したので 20 万字くらいかけて紹介する本

山下 泰平 著

柏書房

漱石・?外を人気で圧倒しながら、今では知名度ゼロの<明治娯楽物語>。その全容をひもときながら、現代の創作物に与えた影響、明治人が一度は捨てた虚構を楽しむ技術を取り戻すまでの流れを紹介する。

2019:5./ 380p 978-4-7601-5007-6 本体 ¥1,800+税

東京・中日新聞 2019/05/19



歌は分断を越えて~在日コリアン二世のソプラノ歌手·金桂仙~(阪南大学叢書 112)

坪井 兵輔 著

新泉社

妻として、母として、嫁として「歌で故郷を届けたいと願っています」。若き日に歌の道を諦めるも、48歳で音楽大学に入学して再生した在日コリアン二世のソプラノ歌手・ 金桂仙のライフヒストリー。 2019:2./ 247p 978-4-7877-1906-5 本体 ¥1,900+税

東京・中日新聞 2019/05/19、朝日新聞 2019/05/25



とめどなく囁く

桐野 夏生 著

幻冬舎

相模湾を望む超高級分譲地で、資産家の夫と暮らす早樹。前妻を突然の病気で、前夫を海難事故で亡くしたふたりの再婚生活。そんなある日、もう縁遠くなったはずの、前夫の母親から電話が…。『東京新聞』ほか連載を書籍化。

2019:3./ 445p 978-4-344-03446-4 本体 ¥1,800+税

東京・中日新聞 2019/05/26



相撲茶屋のおかみさん

横野 レイコ 著

現代書館

江戸時代に興り、相撲見物客の案内や入場券・飲食物・土産品の販売を行った相撲 茶屋。「高砂家」「三河屋」「林家」など、20 軒の相撲茶屋の歴史や日々の奮闘を綴る。相撲茶屋を支える人々、お茶屋遊びの楽しみ方も紹介する。 2017:9./ 166p 978-4-7684-5811-2 本体 ¥1,200+税

東京・中日新聞 2019/05/26



平成の終焉~退位と天皇・皇后~(岩波新書 新赤版 1763)

原 武史 著

岩波書店

天皇制の新たなスタイルが確立された、平成という時代。日本中をくまなく訪ね歩き、 自らの思いを国民に直接語りかけてきた天皇明仁と皇后美智子の「平成流」は退位 後も受け継がれるのか。「象徴」と国民との奇妙な関係を問う。

2019:3./2p,223p,35p 978-4-00-431763-0 本体 ¥840+税

読売新聞 2019/05/05



クレイジーカルチャー紀行

ケロッピー前田 著

KADOKAWA

体にフックを貫通させ吊り下げるボディサスペンション、体内への IC チップの埋め込 み…。世界にはゴツイのがおる! 身体改造を中心に、世界最先端のカウンターカル チャーを紹介する。過激&全裸写真あり。

2019:2./ 251p 図版 24p 978-4-04-107515-9



読売新聞 2019/05/05



初歩から学ぶ生物学(角川ソフィア文庫 K117-2)

池田 清彦 著

KADOKAWA

人はなぜ死ぬの?心はどこにあるの?進化や遺伝の仕組みとは?教科書以前の素 朴な疑問から具体例を厳選。要点から体系的にわかりやすく解説する。人類起源や 免疫に関する最新の知見を盛り込み、加筆・修正し文庫化。

978-4-04-400398-2 本体 ¥840+税

2019:3./253p



読売新聞 2019/05/05



わたし、定時で帰ります。<2> ハイパー

朱野 帰子 著

新潮社

絶対に残業しない主義の結衣がとうとう管理職に。今度の相手は、手ごわい新人たち と、ハラスメントまみれの超絶ブラック企業!?『yomyom』連載を改題、加筆修正。ドラ マ「わたし、定時で帰ります。」の原作。

2019:3./318p 978-4-10-351642-2 本体 ¥1,400+税

読売新聞 2019/05/05



灰と日本人(中公文庫 こ30-5)

小泉 武夫 著

中央公論新社

発火、消毒、肥料、発酵、染料、陶芸、料理...。日本人の生活を支えてきた灰。食生 活、社会、風俗、宗教、芸術に分け入り、身近な生活必需品=灰の科学と神秘性を解 き明かす。

2019:3./ 245p 978-4-12-206708-0 本体 ¥880+税

読売新聞 2019/05/05



あなたに似た人<1> 新訳版(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 22-9)

ロアルド・ダール 著

早川書房

ある日とつぜん夫に別れを告げられた妻は、思わず夫の頭に一撃を喰わせてしまっ た。刑事である夫の死体を前に、妻は凶器をどうする?短篇ミステリのスタンダード「お となしい凶器」など全11篇を収載。

2013:5./ 308p 978-4-15-071259-4 本体 ¥760+税



あなたに似た人<2> 新訳版(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 22-10)

ロアルド・ダール 著

早川書房

植物の「声」を聞く機械を発明した男が耳にしたものは?小説自動作製機は何を成し遂げるのか?日本では単行本未収録だった2作を含む、田舎の魅力的かつ不可解きわまる楽しきカントリーライフを描いた短篇全6篇を収載。

2013:5./ 269p 978-4-15-071260-0 本体 ¥760+税

読売新聞 2019/05/05



ヴィオラ母さん~私を育てた破天荒な母・リョウコ~

ヤマザキ マリ 著

文藝春秋

ヴィオラ演奏家という職業を選び、音楽と娘と自分の人生を真摯に愛する規格外の母リョウコ。昭和の破天荒シングルマザーが鼻息荒く生きて来た道を、娘のヤマザキマリが綴る。『CREA』連載を改題、加筆・修正して単行本化。

2019:1./ 239p 978-4-16-390962-2 本体 ¥1,300+税

読売新聞 2019/05/05



まともがゆれる~常識をやめる「スウィング」の実験~

木ノ戸 昌幸 著

朝日出版社

「べき」や「ねば」といった既存の仕事観・芸術観に疑問符を投げかけながら様々な創造的実践を繰り広げている障害福祉 NPO 法人スウィングの実践を紹介する。稲垣えみ子の寄稿、利用者たちの"自由すぎる詩"も収録。

2019:1./ 223p 978-4-255-01097-7 本体 ¥1,560+税

読売新聞 2019/05/05



ニュータウンクロニクル

中澤 日菜子 著

光文社

人々の大きな夢と希望を集め、郊外に開発された巨大な人工の町-若葉ニュータウン。1971年から2021年までの10年ごとを、ニュータウンの住人たちの視点で紡ぐ、全6編の連作短編集。『小説宝石』掲載を書籍化。

2017:7./ 243p 978-4-334-91173-7 本体 ¥1,600+税

読売新聞 2019/05/05



不老虫

石持 浅海 著

光文社

農林水産省で防疫に従事する酒井恭平は、上司から未知の寄生虫が日本に入って くるかもしれない、と聞かされる。対策のため、アメリカから専門家を招聘。 霞が関では 農林水産省の上層部と警視庁警備部の人間が待っていて...。 2019:4./ 284p 978-4-334-91274-1 本体 ¥1,700+税

読売新聞 2019/05/05



発酵食の歴史

マリー=クレール・フレデリック、吉田 春美 著

原書房

先史時代から現代まで、歴史、考古学、科学の側面から世界各地の発酵食品を考察。最新の考古学上の発見や、世界の伝説や伝承話を交えながら、発酵の世界の 奥深さと豊かさを多角的に論じる。発酵料理のレシピも掲載。

読売新聞 2019/05/05

2019:2./ 341p 978-4-562-05633-0 本体 ¥3,500+税



夜の工場百景~ドローン空撮写真集~

小林 哲朗 著

一迅社

むき出しのダイナミックさ。定点では捉えられない、圧倒的なスケール。地上 150m か ら見えるのは、不可侵の視界だった-。ドローンで空撮した工場夜景を、キーワード別 に収録する。

2018:8./ 1 冊(ページ 付なし) 978-4-7580-1614-8

本体 ¥2,500+税

読売新聞 2019/05/05



ロシア・ナショナリズムの深層~ドストエフスキーの視線から~

植田 樹 著

彩流社

プーチンに率いられる現代ロシアの強力なナショナリズム、大国意識の底にあるスラ ブ主義の本質とは。ドストエフスキーの「作家の日記」を中心に、同時代の知識人の 群像と思想を通して読み解く。

2019:3./ 303p 978-4-7791-2563-8 本体 ¥2,800+税

読売新聞 2019/05/05



DOOR~208 の国と地域がわかる国際理解地図~<5> 南アメリカ・オセアニア

帝国書院

世界が身近に感じられる! オリンピック・パラリンピックに参加している 208 の国と地域 を、楽しいイラスト地図で紹介。人口や面積などの基本情報やコラムも掲載。5 は、南 アメリカ・オセアニアの国と地域を取り上げる。

2019:2./80p 978-4-8071-6401-1 本体 ¥2,800+税

読売新聞 2019/05/05



小説第4次産業革命~日本の製造業を救え!~

藤野 直明、梶野 真弘 著

日経BP社

中堅部品メーカー、ケイテック社長・藤堂敬介の世界戦略の成否はいかに?一流製 造業コンサルタント・コンビによる、ニッポン製造業の生き残りシナリオ。 第 4 次産業革 命への課題を小説形式で解説する。コラムも収録。

2019:4./ 261p 978-4-8222-8965-2 本体 ¥1,600+税

読売新聞 2019/05/05



非常階段東京~THE ORIGIN OF TOKYO~

佐藤 信太郎 著

青幻舎

歴史の闇と、発光する都市のエロティシズム-。東京の街を非常階段から捉えた「非常 階段東京」(2008 年刊)に、皇居など都市の中心部の風景を加えた写真集。 パノラマ ページあり。

2019:3./ 1 冊(ページ 付なし)

978-4-86152-722-7

本体 ¥3,800+税

読売新聞 2019/05/05



パノニカ〜ジャズ男爵夫人の謎を追う〜

ハナ・ロスチャイルド、小田中 裕次 著

月曜社

20 世紀半ばのモダン・ジャズ界の伝説的パトロンであり、セロニアス・モンクの個人的

パトロンだったニカ・ド・コーニングズウォーター男爵夫人。その波乱万丈の生涯を、 富豪ロスチャイルド家の裏面史とともに描く。

読売新聞 2019/05/05

2019:2./382p 978-4-86503-069-3 本体 ¥2,700+税



シュトックハウゼンのすべて

松平 敬 著

アルテスパブリッシング

シュトックハウゼンの、知られざる創作の全貌を明かす一冊。全作品を網羅した詳細 な解説に加え、作曲技法、幼少期のエピソード、大阪万博や 9.11 での発言などを詳 述し、公式 CD の情報、多数の譜例・図版・写真も掲載する。

2019:2./4p,357p 978-4-86559-193-4 本体 ¥2,800+税

読売新聞 2019/05/05



しあわせしりとり

益田ミリ著

ミシマ社

子供の頃の思い出、見ることのない未来、こぼれ落ちる日々...。 あんなこと、こんなこ とが、しりとりのように連鎖する、益田ミリのエッセイ集。『朝日新聞』連載他に書き下ろ しを加え書籍化。

2019:4./ 197p 978-4-909394-20-0 本体 ¥1,500+税

読売新聞 2019/05/05



追悼私記 完全版(講談社文芸文庫 よB9)

吉本 隆明 著

講談社

人はなぜ追悼文を書くのか。そして、追悼文が意味をもつのはなぜなのか。小林秀雄 から美空ひばりまで、ミシェル・フーコーから埴谷雄高まで、達意の文で綴った追悼文 集。単行本未収録含め、重要なエッセイを増補した完全版。

2019:4./ 361p 978-4-06-515363-5 本体 ¥1,800+税

読売新聞 2019/05/05、朝日新聞 2019/05/18



敗北者たち~第一次世界大戦はなぜ終わり損ねたのか 1917-1923~

ローベルト・ゲルヴァルト、小原 淳 著

みすず書房

第一次世界大戦の終結は、敗北者たちにとって暴力の始まりだった。帝国の崩壊、 内戦、ファシズムの台頭。確かな実証性と明快な論理で無数の紛争を纏め上げ、20 世紀を決定づけた暴力の起源を照らす。

2019:2./ 397p,149p 図版 16p 978-4-622-08761-8 本体 ¥5,200+税

読売新聞 2019/05/05、毎日新聞 2019/05/26



筋肉の栄養学~強いからだを作る食事術~(朝日新書 713)

川端 理香 著

朝日新聞出版

最速で筋肉をつけるにはトレーニングより「食事」が重要。多くのアスリートの栄養指導 を行った著者が、レシピ・食べ合わせ・タイミング等、たんぱく質の効率的なとり方を紹 介。老若男女問わず、強いからだを作る方法がわかる。

2019:4./ 207p 978-4-02-295015-4 本体 ¥790+税

読売新聞 2019/05/12



事故の哲学〜ソーシャル・アクシデントと技術倫理〜(講談社選書メチエ 695)

齊藤 了文 著

講談社

自動運転車の事故の責任は、誰にある?極度に複雑化した人工物の事故原因は特 定不能となる。人工物のネットワークが社会を覆うとき、技術倫理はどうあるべきか。現 在進行中の問題に深く切り込む。

2019:3./ 237p 978-4-06-514524-1 本体 ¥1,650+税



ありがとうを言えなくて

野村 克也 著

講談社

俺はおまえのおかげで、悪くない人生だったよ。おまえは...幸せだったか? 生きている間に言えなかった「ありがとう」をいま、伝えたい-。野村克也が亡き妻・沙知代へ綴る愛惜の手記。

2019:3./ 157p 978-4-06-515040-5 本体 ¥1,300+税

読売新聞 2019/05/12



源氏物語<1>(新潮日本古典集成)

紫式部、石田 穣二、清水 好子 著

新潮社

古語辞典がなくても読める、現代語訳の傍注付き「源氏物語」。藤壺への想い、紫の上との出会い…。永遠の貴公子・光源氏の若き青春の日々。「桐壺」から「末摘花」までを収録。解説、系図等の付録も掲載。

2014:10./ 346p 978-4-10-620818-8 本体 ¥2,200+税

読売新聞 2019/05/12



大統領とハリウッド~アメリカ政治と映画の百年~(中公新書 2527)

村田 晃嗣 著

中央公論新社

1915 年公開の「國民の創生」を皮切りに、アメリカ大統領を描き続けてきたハリウッド映画。全米が涙した「名作」から知られざる「迷作」まで 250 本以上の映画をもとに政治との相互関係を読み解き、アメリカの本質に迫る。

2019:2./ 5p,257p 978-4-12-102527-2 本体 ¥860+税

読売新聞 2019/05/12



夢も見ずに眠った。

絲山 秋子 著 河出書房新社

夫を熊谷に残し、札幌へ単身赴任を決めた沙和子。だが、大津で久しぶりに再会した夫に欝の兆候が。そして物語は函館、青梅、横浜、奥出雲へ…。土地の「物語」に導かれたふたりの人生を描いた長編小説。『文藝』連載を書籍化。

2019:1./ 299p 978-4-309-02771-5 本体 ¥1,750+税

読売新聞 2019/05/12



日本人なら知っておきたい日本文学~ヤマトタケルから兼好まで、人物で読む古典

~

蛇蔵、海野 凪子 著

幻冬舎

清少納言は昼間イチャつくブサイクカップルにむかついていた!? 藤原道長は女性を味方につけて出世した!? 紫式部は頭のよさを隠すのに必死だった!? 名前だけ知ってるあの人が大好きになる教養コミック。

2011:8./ 118p 978-4-344-02037-5 本体 ¥900+税

読売新聞 2019/05/12



人生の目的(幻冬舎新書 い-5-6)

五木 寛之 著

幻冬舎

人生はままならぬもの。ならば私たちは何のために生きるのか-。五木寛之が肉親、金銭、信仰について考える。人々に寄り添う深い洞察が大反響を呼んだ衝撃の人生 論。

2019:3./ 213p



徳は知なり~幸福に生きるための倫理学~

ジュリア・アナス、相澤 康隆 著

春秋社

「徳」とは一体何か。帰結主義や義務論と並ぶ現代倫理学の一大潮流である「徳倫理学」。「徳」「幸福」「徳と幸福の関係」に焦点を絞り、前提知識なしに、わかりやすく説き明かした入門書。

2019:3./ 9p,343p,15p 978-4-393-32372-4 本体 ¥3,400+税

読売新聞 2019/05/12



世界史で学べ!地政学(祥伝社黄金文庫 Gも4-1)

茂木 誠 著

祥伝社

なぜ日米は太平洋上でぶつかったのか。日中関係と北方領土問題の根本原因は何か。国家間の対立を地理的条件から説明する「地政学」の視点から、世界の歴史と今日の国際情勢を読み解く。

2019:4./ 335p 978-4-396-31754-6 本体 ¥820+税

読売新聞 2019/05/12



戦略読書日記~本質を抉りだす思考のセンス~(ちくま文庫 く31-1)

楠木 建 著

筑摩書房

読書は経営のセンスを磨き、戦略ストーリーを構想するための筋トレであり、走り込みである。戦略や経営の本質を抉り出すような本を厳選し、それらに触発されて考えたことを綴る。ロング・インタビューも収録。

2019:4./ 503p 978-4-480-43591-0 本体 ¥1,200+税

読売新聞 2019/05/12



よくわかる哲学・思想(やわらかアカデミズム・<わかる>シリーズ)

納富 信留、檜垣 立哉、柏端 達也 著

ミネルヴァ書房

一般に「哲学・思想」として扱われる、西洋哲学の歴史と現代哲学とを全体として見渡すテキスト。西洋哲学史から、近代日本の哲学、哲学の諸問題まで、103 項目を解説する。各項目ごとに参考文献も掲載。

2019:4./ 5p,222p 978-4-623-08410-4 本体 ¥2,400+税

読売新聞 2019/05/12



やさしいフランスチーズの本

レ・ヌーヴォー・フロマジェ、トマ・バース、河 清美 著 パイインターナショナル

絵本のように楽しく読めるチーズの入門書。サン=ネクテール、ボーフォール、マンステール…。チーズ王国フランスを代表する絶品チーズ 60 種を選び、それぞれのチーズの特徴をイラストとともに紹介する。

2019:2./ 169p 978-4-7562-5144-2 本体 ¥1,900+税

読売新聞 2019/05/12



Good to Go~最新科学が解き明かす、リカバリーの真実~

クリスティー・アシュワンデン、児島 修 著

青土社

ドイツスキーチームオリンピック代表のリカバリードリンクはノンアルコールビール!? 元プロアスリートの科学ジャーナリストが最新の科学的知見に基づき、スポーツリカバリー界の定説を覆す、驚きの新事実を解き明かす。

978-4-7917-7155-4 本体 ¥1,800+税

2019:3./310p



原典中世ヨーロッパ東方記

高田 英樹 著

名古屋大学出版会

ヨーロッパを震撼させた、13 世紀半ば?14 世紀後半のモンゴル帝国の侵攻。当時、東方に派遣された修道士や商人たちは何を見、どのように記録したのか。アジア旅行記から書簡・壁画・地図まで、全15 編を原典から翻訳集成。

2019:2./ 10p,836p 978-4-8158-0936-2 本体 ¥12,000+税

読売新聞 2019/05/12



標本の本~京都大学総合博物館の収蔵室から~

青幻舎

約 260 万点の学術標本や教育資料がそろう京都大学総合博物館。膨大なコレクションの中から、動物、植物、化石、鉱物などの自然史に関わる標本を紹介する。アカネズミの捕獲から標本製作までの様子も収録。

2013:3./ 171p 978-4-86152-385-4 本体 ¥3,200+税

読売新聞 2019/05/12



黒人小屋通り

ジョゼフ・ゾベル、松井 裕史 著作品社

カリブ海に浮かぶフランス領マルチニック島。農園で働く祖母のもとに預けられた少年は、仲間たちや大人たちに囲まれ、貧しいながらも天真爛漫な少年時代を過ごす-。映画「マルチニックの少年」の原作。

2019:3./ 294p 978-4-86182-729-7 本体 ¥2,600+税

読売新聞 2019/05/12



アメコミヒーローの倫理学~10 人のスーパーヒーローによる世界を救う 10 の方法

トラヴィス・スミス、堀内 進之介、塚越 健司 著

PARCO出版

バットマン VS スパイダーマン、ソーVS スーパーマン...。DC、マーベルのスーパーヒーロー10 人の中で現代社会で最も望ましい徳性のモデルになるのは誰かを検証する、知的エンターテインメント。

2019:3./ 295p 978-4-86506-295-3 本体 ¥1,800+税

読売新聞 2019/05/12



生き抜くための俳句塾

北大路 翼 著

左右社

俳句は人間の愚かさを確認する装置である-。愚かさを持つ全ての人たちへ贈る、俳句で遊び、負けも笑いに転化する過激で実践的な入門書。俳人になるための心構えから、俳句的脳内回路の作り方、悩み別作句技法までを解説する。

2019:3./ 160p 978-4-86528-221-4 本体 ¥1,600+税

読売新聞 2019/05/12



流言のメディア史(岩波新書 新赤版 1764)

佐藤 卓己 著

岩波書店

流言蜚語、風評、誤報、情報宣伝…。現代史に登場したメディア流言の「真実」を見極め、それぞれの影響を再検証するメディア論。『季刊 考える人』連載を再構成し、加筆して新書化。

978-4-00-431764-7 本体 ¥900+税

2019:3./ 4p,289p,7p

読売新聞 2019/05/12、東京・中日新聞 2019/05/19



ヤンキーと地元~解体屋、風俗経営者、ヤミ業者になった沖縄の若者たち~

打越 正行 著

筑摩書房

沖縄のヤンキーたちはどのような現実を生きているのか。生きていくために建設業や 性風俗業、ヤミ仕事に就いた若者たちと10年以上つき合った社会学者による調査の 記録。地元社会の過酷な掟を描く。

2019:3./ 302p 978-4-480-86465-9 本体 ¥1,800+税

読売新聞 2019/05/12、毎日新聞 2019/05/26



学校ハラスメント~暴力・セクハラ・部活動-なぜ教育は「行き過ぎる」か~(朝日新書 709)

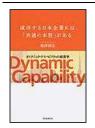
内田 良 著

朝日新聞出版

巨大組み体操、体罰、スクール・セクハラ、ブラック部活動、教師への暴力、いじめ件 数の格差…。学校の日常に封印された「ハラスメント」の数々に、気鋭の教育社会学 者が切り込む。『一冊の本』連載を単行本化。

2019:3./ 237p 978-4-02-295012-3 本体 ¥810+税

読売新聞 2019/05/19



成功する日本企業には「共通の本質」がある~ダイナミック・ケイパビリティの経営学

菊澤 研宗 著

朝日新聞出版

富士フイルム、ソニー、YKK などの成功事例を通して、ダイナミック・ケイパビリティが 「成功の本質」であることを明らかにし、未来の日本企業が実践すべき進化論的ダイ ナミック・ケイパビリティ論について説明する。

2019:3./ 260p 978-4-02-331770-3 本体 ¥1,600+税

読売新聞 2019/05/19



豊かさ幻想~戦後日本が目指したもの~(角川選書 615)

森 正人 著

KADOKAWA

開発、発展、生産性という言葉は、日本において豊かさや幸福とどのように結びつけ れられてきたのか。アメリカ博覧会、国土開発プロジェクト、公害などの歴史を昭和の メディアから分析し、現代社会への警笛を鳴らす。

2019:3./ 302p 978-4-04-703669-7 本体 ¥1,700+税

読売新聞 2019/05/19



世界のへんな肉(新潮文庫 し-87-1)

白石 あづさ 著

新潮社

キリン、ラクダ、ビーバー、トナカイ...。日本で食べられない動物たちはどんな味?旅 の楽しさは現地の食べものと人たちとの出会いにあり。100 以上の国を訪れた著者が ゆるかわイラストと共に綴る、めくるめく肉紀行。

2019:5./ 220p 978-4-10-101361-9 本体 ¥460+税

読売新聞 2019/05/19



かけら(新潮文庫 あ-71-1)

青山 七恵 著

新潮社

父とふたりで参加した目帰りさくらんぼ狩りツアー。口数が少なく、「ただのお父さん」と

思っていた父の意外な顔とは-。表題作をはじめ全3編を収録した短編集。

読売新聞 2019/05/19

2012:7./ 177p 978-4-10-138841-0 本体 ¥400+税



アラフォー・クライシス~「不遇の世代」に迫る危機~

NHK「クローズアップ現代+」取材班 著

新潮社

給料上がらない、結婚できない...。経済的・社会的に不利益を被り続けている、40 歳前後を迎えた「就職氷河期」世代。その実態を当事者たちへの取材から明らかにする。NHK「クローズアップ現代+」の放送内容を元に書籍化。

2019:2./ 235p 978-4-10-352351-2 本体 ¥1,400+税

読売新聞 2019/05/19



漢字の字形~甲骨文字から篆書、楷書へ~(中公新書 2534)

落合 淳思 著中央公論新社

甲骨文字から篆書、隷書を経て楷書へ-。漢字一つひとつから古代人の世界観、中国数千年の文化風俗が見えてくる。漢字の字形の変化を、眺めて楽しい「字形表」とともに紹介。

2019:3./ 3p,207p 978-4-12-102534-0 本体 ¥800+税

読売新聞 2019/05/19



天使が見たもの~少年小景集~(中公文庫 あ 20-3)

阿部 昭著

中央公論新社

短篇小説の名手による<少年>を主題としたオリジナル・アンソロジー。病死した母親の後を追う少年の姿を端正な文体で描いた表題作のほか、随筆「あの夏あの海」など全14篇を収める。沢木耕太郎によるエッセイも収録。

2019:4./ 285p 978-4-12-206721-9 本体 ¥860+税

読売新聞 2019/05/19



夫の骨(祥伝社文庫 や19-1)

矢樹 純 著

祥伝社

2年前に他界した血縁のない母に対し、他人行儀な態度を崩さなかった夫。昨年、事故死した夫の遺品の中から、乳児の骨を見つけた妻は…。表題作ほか全 9 編を収録。Kindle 個人出版に書下ろし等を加えて文庫化。

2019:4./ 307p 978-4-396-34510-5 本体 ¥670+税

読売新聞 2019/05/19



厨房から台所へ~志麻さんの思い出レシピ 31~

タサン志麻 著 ダイヤモンド社

家族から教わったこと、フランス留学での経験、プロの世界での学び…。「予約の取れない伝説の家政婦」が、自身の半生といろいろな仕事を通して学んだ料理のコツを綴る。思い出が詰まった31のレシピも紹介。

2019:2./ 195p 978-4-478-10646-4 本体 ¥1,400+税

読売新聞 2019/05/19



へろへろ~雑誌『ヨレヨレ』と「宅老所よりあい」の人々~(ちくま文庫 か77-1)

鹿子 裕文 著

筑摩書房

お金も権力もない老人介護施設「よりあい」の人々が、森のような場所に出会い、土地を手に入れ、必死でお金を集めながら特別養護老人ホームづくりに挑む! 自分たちの居場所を自分たちの手でつくろうとした人々の実話。

2019:3./ 297p 978-4-480-43583-5 本体 ¥800+税



本気で社員を幸せにする会社~「あたらしい働き方」12のお手本~

やつづか えり 著

日本実業出版社

先進的でユニークな取り組みから見えてきた、ほんとうに大切なこととは?働く人の「幸せ」を重視して好循環を生み出している 12 社を取り上げ、経営のあり方、社員の働き方、そこに至った経緯などをわかりやすく紹介する。

2019:4./ 235p 978-4-534-05688-7 本体 ¥1,500+税

読売新聞 2019/05/19



選挙制を疑う(サピエンティア 58)

D.ヴァン・レイブルック、岡崎 晴輝、D.ヴァンオーヴェルベーク 著 法政大学出版局

現代の民主主義諸国が直面する「民主主義疲れ症候群」の原因が、「選挙型」代議制民主主義にあることを明らかにし、古代ギリシアなどの抽選制の政治的伝統や、現代の抽選制の理論と実践を踏まえ、抽選制議会の構想を示す。

2019:4./ 5p,233p,11p 978-4-588-60358-7 本体 ¥3,400+税

読売新聞 2019/05/19



都会暮らしから始める道草料理術

大海 勝子 著

晶文社

都市部の生活圏から郊外の散策、本格的な田舎暮らしと山での生活まで、それぞれで行える「道草」のスタイルと採取できる野草たちを紹介。野草を使った「料理のベース」を中心に、手軽に作れる料理のレシピを詳説する。

2019:2./ 186p 978-4-7949-7077-0 本体 ¥1,500+税

読売新聞 2019/05/19



教えない授業~美術館発、「正解のない問い」に挑む力の育て方~

鈴木 有紀 著

英治出版

先生が教えない代わりに「問い」を投げかけることで「主体的学び」を育む、美術館発の学習スタイル「対話型鑑賞」。美術にとどまらず全教科に応用・普及させた愛媛県の取り組みと、対話型鑑賞の基礎やその可能性を紹介する。

2019:4./ 245p 978-4-86276-265-8 本体 ¥1,600+税

読売新聞 2019/05/19



懐かしの空き缶大図鑑~石川浩司のお宝コレクション~(かもめの本棚)

石川 浩司 著 東海教育研究所

バンド「たま」のデビューと同時に始めた空き缶コレクションは、34 年間で 3 万缶以上。世界一多くの缶ドリンクを飲んだ男・石川浩司が、選りすぐりのお宝缶を一挙公開。WEBマガジン『かもめの本棚』連載を加筆し単行本化。

2019:3./ 158p 978-4-924523-02-9 本体 ¥2,200+税

読売新聞 2019/05/19



日本外交の 150 年~幕末・維新から平成まで~

波多野 澄雄 著

日本外交協会

幕末・維新から平成まで、国益と内外情勢の狭間で苦闘した外交指導者たちの行動 の軌跡をたどり、豊富な写真・図版を活用しながらその功罪を問いなおす。事項・人 名索引付き。

978-4-9901224-1-6 本体 ¥3,800+税

2019:3./ 8p,350p,17p



真実が揺らぐ時~ベルリンの壁崩壊から9.11まで~

トニー・ジャット、ジェニファー・ホーマンズ編

トニー・ジャット、河野 真太郎、西 亮太、星野 真志、田尻 歩 著

慶應義塾大学出版会

1989 年のさまざまな革命、9.11 の犠牲、イラク戦争、深まる中東の危機、アメリカ共和 国の没落-。時代の潮流に逆らって進み、思想という船の向かう先を異なる方向に向 ける戦いを繰り広げたトニー・ジャットの魂の軌跡。

2019:4./ 561p.13p 978-4-7664-2454-6 本体 ¥5,500+税

読売新聞 2019/05/19、朝日新聞 2019/05/25



日本で生まれた中国国歌~「義勇軍行進曲」の時代~(シリーズ日本の中の世界 史)

久保 亨 著

岩波書店

中国国民党幹部・邵元冲と張黙君夫妻、のちの中華人民共和国国歌「義勇軍行進 曲」を日本で作曲した聶耳。日本と深い関係をもつ 3 人の眼に映じた 20 世紀初頭の 日本の姿を通して、日中関係の原点を問い直す。

2019:2./ 13p,244p,4p 978-4-00-028387-8 本体 ¥2,400+税

読売新聞 2019/05/26



アースダイバー 増補改訂

中沢 新一著

講談社

縄文、そして「海民」へと日本のルーツを遡り、地形の無意識、文化と自然の相互作 用を探るアースダイビングは、見えない東京を教えてくれる。隅田川、多摩川、大宮 八幡宮を追加。全24点アースダイビング・マップ付き。

2019:3./382p 978-4-06-515398-7 本体 ¥2,300+税

読売新聞 2019/05/26



志ん生一代(小学館文庫 ゆ 6-1)

結城 昌治 著

小学館

落語への情熱は本物だが、「飲む打つ買う」は止められない。師匠を怒らせ、仕事を しくじり、改名を繰り返し、借金を重ね...。不世出の天才落語家・古今亭志ん生の、戦 前、戦中、戦後を駆け抜けた破天荒人生を描く。

2019:4./ 788p 978-4-09-406626-5 本体 ¥1,100+税

読売新聞 2019/05/26



新任巡査<上巻>(新潮文庫 ふ-52-51)

古野 まほろ 著

新潮社

平凡だけど心優しい上原ライト。首席の女警でいつも能面の内田アキラ。新任巡査ふ たりはターミナル駅の東と西で人生初の交番勤務を始める。そんな彼女たちの日常 の中に、少女連続行方不明事件の手がかりが...。

本体 ¥670+税

978-4-10-100471-6

2019:3./ 431p

読売新聞 2019/05/26



新任巡査<下巻>(新潮文庫 ふ-52-52)

古野 まほろ 著

新潮社

少女連続行方不明事件の目撃情報と、警察署内の「開かずの間」の噂。わずかな手がかりから事件の真相に迫る2人の新任巡査の背後に襲いかかる凶刃…。 巧緻に張り巡らされた伏線の先に浮かび上がる驚愕の真犯人とは。

2019:3./ 463p 978-4-10-100472-3 本体 ¥710+税

読売新聞 2019/05/26



川の光(中公文庫 ま49-1)

松浦 寿輝 著

中央公論新社

せせらぎに守られた川辺の暮らしは、突然の工事で終わりを告げる。新天地を求めて 旅に出たネズミー家は、やがて大冒険をすることに-。足元で脈動する世界に優しいま なざしを向け、柔らかい魂の手触りを伝える物語。 2018:5./ 459p 978-4-12-206582-6 本体 ¥760+税

読売新聞 2019/05/26



世にも危険な医療の世界史

リディア・ケイン、ネイト・ピーダーセン、福井 久美子 著文藝春秋

梅毒患者は水銀風呂に入れ! 泣き止まない子どもにはアヘンを! 瀉血、ロボトミー、 食人、ストリキニーネなど、科学を知らない人類が試みた、ぞっとする医療や、詐欺ま がいのインチキ療法の数々を紹介する。 2019:4./ 427p 978-4-16-391017-8 本体 ¥2,200+税

読売新聞 2019/05/26



「いい親」をやめるとラクになる~子どもの自己肯定感を高めるヒント~(青春新書INTELLIGENCE PI-567)

古荘 純一 著青春出版社

親のかかわり方で、子どものこころの状態は大きく変わる。親と子の自己肯定感を高めることで、子育てをラクにするヒントを紹介。子どものうつを防ぐためのアプローチや、O&Aも収録する。

2019:4./ 189p 978-4-413-04567-4 本体 ¥920+税

読売新聞 2019/05/26



夜が暗いとはかぎらない

寺地 はるな 著ポプラ社

大阪近郊にある暁町。閉店が決まった「あかつきマーケット」のマスコット・あかつきんが突然失踪した。かと思いきや、町のあちこちに出没し、人助けをしているらしく...。『asta*』掲載に書き下ろしを追加して単行本化。

2019:4./ 316p 978-4-591-16274-3 本体 ¥1,600+税

読売新聞 2019/05/26



全国作家記念館ガイド~全国 258 館~

作家記念館研究会 編

山川出版社

日本全国の文学館及び個人の作家記念館 258 館を、文章とカラー写真で紹介。アクセス、館内の様子のほか、作家の代表作を掲載する。最新情報が得られる QR コード、生没年表、作家索引付き。

2019:3./ 255p

読売新聞 2019/05/26



堀田善衞乱世を生きる

水溜 真由美 著ナカニシャ出版

堀田の文学活動のすべてが、戦前日本に対する反省を出発点としたコミットメントであった-。堀田善衞の主要な著作をできるだけ網羅的に検討し、堀田を、乱世を生き、 乱世を描き、乱世を思考した作家・思想家として再評価する。 2019:3./ 11p,427p,7p 978-4-7795-1364-0 本体 ¥3,800+税

読売新聞 2019/05/26



選択と誘導の認知科学(「認知科学のススメ」シリーズ 10)

山田 歩 著

新曜社

選択は一連の情報処理過程として捉えることができる。洗剤の銘柄選びから、政治的立場の決定まで、人の選択を導く情報処理メカニズムを解明し、選択を誘導する方法やその未来まで見通す。

2019:4./ 10p,176p 978-4-7885-1618-2 本体 ¥1,800+税

読売新聞 2019/05/26



三河吉田藩・お国入り道中記(インターナショナル新書 036)

久住 祐一郎 著

集英社インターナショナル

天保 12 年、三河吉田藩の参勤交代の行列が江戸を出発した。しかし、決まらない日程、ダブルブッキング、馬に乗れない老家臣など、数々の難題が…。藩の目付役が書き残した詳細な記録を繙き、働く武士のリアルな姿を描く。

2019:4./ 234p 978-4-7976-8036-2 本体 ¥840+税

読売新聞 2019/05/26



徂徠学派から国学へ~表現する人間~

板東 洋介 著

ぺりかん社

江戸時代中期に登場した、古学派と呼ばれるふたつの新興思想勢力、徂徠学と国学。古学派の言語論や詩的表現の分析を中心に、近代知識人の宿痾となった思想的葛藤に目を配りつつ、古くて新しい人間像を探究する。

2019:3./ 278p 978-4-8315-1530-8 本体 ¥5,000+税

読売新聞 2019/05/26



「神国」の正統論~『神皇正統記』受容の近世・近代~

齋藤 公太 著

ぺりかん社

天皇の統治に基づく「正統」概念の展開を、北畠親房「神皇正統記」の近世以後の多様な受容史から詳細に分析。天皇と神道/政治権力と倫理という 2 つの関係が交錯する思想史として描き出す。

2019:3./ 350p 978-4-8315-1532-2 本体 ¥6,400+税

読売新聞 2019/05/26



僕という容れ物

檀 廬影 著

リットーミュージック

何時からだろう。僕は自分が誰かわからなくなったー。どこまでが幻覚か現実か、荒涼とした精神の砂漠を徘徊する日々を描く。インディーズでカルト的人気を誇るミュージシャンの小説デビュー作品。

読売新聞 2019/05/26

2019:4./ 207p 978-4-8456-3348-7 本体 ¥1,600+税



メイキングブック犬ケ島

ローレン・ウィルフォード、ライアン・スティーブンソン、金原 瑞人、神武 団四郎 著フィルムアート社

制作年数 4 年、撮影日数 445 日、ストップモーション・アニメ用写真撮影枚数 144000枚…。ウェス・アンダーソンが"日本"と"日本映画"を描いたアニメーション映画「犬ケ島」のすべてがわかるメイキングブック。

2019:2./ 259p 978-4-8459-1807-2 本体 ¥4,800+税

読売新聞 2019/05/26



作ること使うこと~生活技術の歴史・民族学的研究~

A-G.オードリクール、山田 慶兒 著

藤原書店

農学・人類学・言語学の圧倒的博識に基づいて、M・モースの提唱した「技術学」の 全貌を明かす論集。日常生活・遊び・スポーツ・祭礼等の中に現在も息づく、身体・ 物・技術の関係に豊富な具体例から多角的に迫る。 2019:2./ 452p 978-4-86578-212-7 本体 ¥5,500+税

読売新聞 2019/05/26

贈数 り学物の森 旧良 ○ 生

数学の贈り物

森田 真生 著

ミシマ社

独立研究者として、子の親として、一人の人間として、ひとつの生命体が渾身で放った随筆集。「捨身」「君が動くたび」「変身」など全 19 篇を収録する。『みんなのミシマガジン』連載等をもとに再構成。

2019:3./ 158p 978-4-909394-19-4 本体 ¥1,600+税

読売新聞 2019/05/26



伊勢神宮と斎宮(岩波新書 新赤版 1767)

西宮 秀紀 著

岩波書店

天皇の皇祖神・天照大神を祭る伊勢神宮と、神宮に奉仕する皇女が住まう斎宮。それらの起源を記紀神話のなかに探り、ヤマト朝廷の遠隔地に置かれた政治的理由、 律令制国家の展開との関わりなどを明らかにする。 2019:3./ 11p,228p,9p 978-4-00-431767-8 本体 ¥840+税

日本経済新聞 2019/05/04



血族の王~松下幸之助とナショナルの世紀~(新潮文庫 い-57-2)

岩瀬 達哉 著

新潮社

妻と始めた家内工業を従業員 38 万人の一大家電王国へと成長させた松下幸之助。 激動の時代を背景に、数々の神話に彩られた「経営の神様」を、新資料と徹底取材で丸裸にした評伝。 2014:2./ 394p 978-4-10-131032-9 本体 ¥630+税

日本経済新聞 2019/05/04



死にがいを求めて生きているの

朝井 リョウ 著中央公論新社

植物状態のまま眠る青年と見守る友人。美しい?がりに見えるふたりの"歪な真実"とは? 平坦で争いのない「平成」の日常を、朝井リョウが現代の闇と祈りを込めて描く。 『小説 BOC』連載を加筆修正し単行本化。

日本経済新聞 2019/05/04

2019:3./ 473p 978-4-12-005171-5 本体 ¥1,600+税



地下道の少女(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 439-8)

アンデシュ・ルースルンド、ベリエ・ヘルストレム、ヘレンハルメ美穂 著 早川書房

真冬のストックホルム。バスに乗せられた外国人の子ども 43 人が置き去りにされる事 件が発生。さらに病院の地下通路では、顔の肉を抉られた女性の死体が発見され ...。地下道での生活を強いられる人々の悲劇を鮮烈に描く。

2019:2./ 533p 978-4-15-182158-5 本体 ¥1,160+税

日本経済新聞 2019/05/04



日本現代怪異事典

朝里樹著 笠間書院

こっくりさん、口裂け女、トイレの花子さん...。 戦後から 2000 年前後にネット上に登場 する怪異まで、日本を舞台に語られた 1000 種類以上の怪異を紹介する。類似怪 異、出没場所、都道府県別などの索引付き。

2018:1./500p 978-4-305-70859-5 本体 ¥2,200+税

日本経済新聞 2019/05/04



進化の法則は北極のサメが知っていた(河出新書 004)

渡辺 佑基 著 河出書房新社

恐竜、ミジンコ、アザラシ、そしてヒト。多様な生物が繁栄した背後にある物理法則とは -。「体温」という切り口から地球上に暮らす様々な生物を見渡し、その生き方を決定づ けるメカニズムに迫る。

2019:2./ 343p 978-4-309-63104-2 本体 ¥920+税

日本経済新聞 2019/05/04



書物の破壊の世界史~シュメールの粘土板からデジタル時代まで~

フェルナンド・バエス、八重樫 克彦、八重樫 由貴子 著 紀伊國屋書店出版部

シュメールの昔から、アレクサンドリア図書館の栄枯盛衰、ナチスによるビブリオコース ト、イラク戦争下の略奪行為、電子テロまで。膨大な量の文献や実地調査をもとに、世 界各地の書物の破壊の歴史をたどる。

2019:2./ 739p 978-4-314-01166-2 本体 ¥3,500+税

日本経済新聞 2019/05/04



神話学入門(ちくま学芸文庫 オ 28-1)

大林 太良 著

筑摩書房

神話とその背景としての民族・文化・社会、世界像や儀礼との関係を解き明かす神話 学の入門書。ヨーロッパで発達した神話学研究の系譜を丁寧に辿りつつ、定義と分 類、様々な解釈を詳述し、重要な側面を余すところなく紹介する。

2019:3./ 226p 978-4-480-09918-1 本体 ¥1.000+税

日本経済新聞 2019/05/04



魔眼の匣の殺人

今村 昌弘 著 東京創元社

その日、"魔眼の匣"を 9 人が訪れた。人里離れたその施設の主は、予言者と恐れら れる老女だ。彼女は葉村譲と剣崎比留子をはじめとする来訪者に「あと 2 日のうち に、この地で4人死ぬ」と告げた…。シリーズ第2弾。

978-4-488-02796-4 本体 ¥1,700+税

2019:2./ 333p



世界経済チキンゲームの罠(日経プレミアシリーズ 397)

滝田 洋一 著

日本経済新聞出版社

神経戦続く米中貿易摩擦、遠心力強まる EU、新たな冷戦と景気減速…。国際情勢は当事者たちが振り上げた拳を下ろせない「チキンゲーム」の様相を呈している。さまざまな要素が絡み合い、混迷の度を強める世界を読み解く。

2019:3./ 243p 978-4-532-26397-3 本体 ¥850+税

日本経済新聞 2019/05/04



いつも歌があった

南 こうせつ 著

ヤマハミュージックメディア

2019 年にデビュー50 周年を迎える南こうせつ。70 歳の今なお年間 50 本以上のコンサートを続けている活力の原点は何か? これまでの音楽活動、現在の暮らし、人生を振り返り、明日への活力を解き明かす。

2019:3./ 227p 978-4-636-96625-1 本体 ¥2,000+税

日本経済新聞 2019/05/04



飢える私~ままならない心と体~

ロクサーヌ・ゲイ、野中 モモ 著

亜紀書房

あの日の私を守るために食べてしまう。そんな自分を愛したいけど、愛せない-。12 歳でレイプされ引き裂かれた魂は、飽くなき「食欲」へと向かった。少女時代から作家になっても続く苦悩と辛酸の日々を綴った回顧録。

2019:2./ 286p 978-4-7505-1577-9 本体 ¥1,900+税

日本経済新聞 2019/05/04



なぜ女性管理職は少ないのか~女性の昇進を妨げる要因を考える~(青弓社ライブラリー 96)

日本女子大学現代女性キャリア研究所 編 大沢 真知子 著

青弓社

女性が管理職になれない・なりたがらない要因とは。男性中心のリーダーシップ像や女性が抱える心理的な葛藤、職場に根強い差別等をインタビューや統計から明らかにし、公平な評価制度や新たなリーダーシップ像の確立を訴える。

2019:3./ 207p 978-4-7872-3450-6 本体 ¥1,600+税

日本経済新聞 2019/05/04



キッシンジャー~1923-1968|理想主義者~<1>

ニーアル・ファーガソン、村井 章子 著

日経BP社

不世出の学者・政治家キッシンジャーの思想と行動の原点となる前半生を、私信・メモを含む膨大な資料から浮き彫りにする。1 は、米国に移住して第二次世界大戦末期に従軍、復員後ハーバード大学で学び頭角を現すまでを収録。

日本経済新聞 2019/05/04

2019:2./ 582p 978-4-8222-5594-7 本体 ¥4,200+税



キッシンジャー~1923-1968|理想主義者~<2>

ニーアル・ファーガソン、村井 章子 著

日経BP社

不世出の学者・政治家キッシンジャーの思想と行動の原点となる前半生を、私信・メモを含む膨大な資料から浮き彫りにする。2 は、ベトナム戦争の秘密和平交渉に関与、国家安全保障問題担当大統領補佐官に指名されるまでを収録。

2019:2./ 710p 978-4-8222-5595-4 本体 ¥4,500+税

日本経済新聞 2019/05/04



生命科学クライシス~新薬開発の危ない現場~

リチャード・ハリス、寺町 朋子 著

白揚社

効果を再現できない医薬研究、約 90%。命を救うはずの研究が低すぎる再現性のために、悲劇の連鎖を生んでいる。ずさんな研究はなぜ横行するのか? 改革は可能か? 生命科学を蝕んできた「再現性問題」の全貌をあぶりだす。

2019:3./ 301p 978-4-8269-0209-0 本体 ¥2,700+税

日本経済新聞 2019/05/04



ふたつの日本~「移民国家」の建前と現実~(講談社現代新書 2516)

望月 優大 著

講談社

日本はすでに「移民国家」だ。止まらない人口減少の背後で、日本に暮らす外国人は増加の一途をたどっている。日本と移民との関係性を論じ、大きく変わる「国のかたち」の全体像をつかむ。50点以上の図表も収録。

2019:3./ 222p 978-4-06-515110-5 本体 ¥840+税

日本経済新聞 2019/05/04、朝日新聞 2019/05/18



幻想の経済成長

デイヴィッド・ピリング、仲 達志 著

早川書房

GDP を拡大し続ければ私達は幸せになれるのか? 世界 5 大陸で取材した『フィナンシャル・タイムズ』の元東京支局長が、各国で見聞きした豊富な事例から「成長至上主義」の限界を明かし、そこから脱却するための道筋を示す。

2019:3./ 334p 978-4-15-209845-0 本体 ¥2,100+税

日本経済新聞 2019/05/04、東京・中日新聞 2019/05/05



第6の大絶滅は起こるのか~生物大絶滅の科学と人類の未来~

ピーター・ブラネン、西田 美緒子 著

築地書館

地球誕生以来、5 回、地球上のほぼ全ての生物が死滅した。なぜ生物大量絶滅は起きたのか? 科学ジャーナリストが、様々な分野の研究者に会い、現地調査に加わった経験をもとに、大量絶滅時の地球環境の変化を生き生きと描く。

2019:2./ 380p 978-4-8067-1577-1 本体 ¥3,200+税

日本経済新聞 2019/05/04、読売新聞 2019/05/05



ともに悲嘆を生きる グリーフケアの歴史と文化(朝日選書 982)

島薗進著

朝日新聞出版

災害、事故、別離…。「ひとり」に耐えて生き抜く力の源とは? 宗教学の泰斗が、グリーフケアについて概観するとともに、近代日本における悲嘆の経験や表現の歴史について考える。「日本人の死生観を読む」の続編。

2019:4./ 249p 978-4-02-263082-7 本体 ¥1,400+税



人外

松浦 寿輝 著

講談社

アラカシの枝の股から滲みだし、四足獣のかたちをとった「それ」は、荒廃した世界の風景を横切り…。ゆくてに待ち受けるのは、いったい何か?世界のへりをめぐるよるべない魂の旅を描く小説。『群像』連載を単行本化。

2019:3./ 269p 978-4-06-514724-5 本体 ¥2,300+税

日本経済新聞 2019/05/11



捨てられる銀行<3> 未来の金融(講談社現代新書 2512)

橋本 卓典 著

講談社

地域金融マンはどう未来を切り開けばよいのか。「計測できない世界」にどう対処するのか。金融庁はどのような金融行政を目指そうとしているのか。2019 年 4 月に大きく変わる金融機関の新ルールの全貌とともに明らかにする。

2019:2./ 254p 978-4-06-514907-2 本体 ¥860+税

日本経済新聞 2019/05/11



藁の王

谷崎 由依 著

新潮社

なぜ私は小説を書くのか、それをどう教えるのか-。教師としての経験を元に、小説と格闘する人々を描いた表題作など全 4 編を収録した、女性と世界との葛藤を浮き彫りにする作品集。『新潮』掲載を単行本化。

2019:3./ 254p 978-4-10-352371-0 本体 ¥1,800+税

日本経済新聞 2019/05/11



事大主義~日本・朝鮮・沖縄の「自虐と侮蔑」~(中公新書 2535)

室井 康成 著

中央公論新社

「事大主義」とは、強者に迎合して保身を図る態度である。近現代の日本・朝鮮・沖縄が描いた複雑な軌跡を、事大主義をめぐる思想や言説から浮き彫りにする。

2019:3./ 12p,212p 978-4-12-102535-7 本体 ¥820+税

日本経済新聞 2019/05/11



戦後日記(中公文庫 み 9-13)

三島 由紀夫 著

中央公論新社

「小説家の休暇」「裸体と衣裳」を中心に、昭和23年から42年の間に日記形式で発表されたエッセイ14篇を年代順に収録。文壇の寵児の華麗なる日常と、同時代芸術への鋭い批評が光るドキュメント。

2019:4./ 389p 978-4-12-206726-4 本体 ¥1,000+税

日本経済新聞 2019/05/11



Xと云う患者~龍之介幻想~

デイヴィッド・ピース、黒原 敏行 著

文藝春秋

イギリスの鬼才が芥川文学をコラージュし、マッシュアップし、リミックスして生み出した 幻想譚を、精妙に美しい日本語に移し替えた決定的翻訳。読む者をゆるやかに芥川 の文学的狂気へといざなう一冊。

日本経済新聞 2019/05/11

2019:3./ 367p 978-4-16-391001-7 本体 ¥2,400+税



アフターデジタル~オフラインのない時代に生き残る~

藤井 保文、尾原 和啓 著

日経BP社

「デジタルトランスフォーメーション」は知っているが、「何をしたらよいのか分からない」 と悩む人に向けて、世界潮流から見たデジタルトランスフォーメーションの方法論を提 示する。中国をはじめとする各国の具体例も紹介。

2019:3./ 197p 978-4-296-10162-7 本体 ¥2,200+税

日本経済新聞 2019/05/11



天才数学者、ラスベガスとウォール街を制す~偶然を支配した男のギャンブルと投 資の戦略~<上>

エドワード・O.ソープ、望月 衛 著

ダイヤモンド社

アメリカの数学者、エドワード・ソープ。天性のいたずら好きだった少年時代、数学力 でカジノに勝ち続けた青年時代、経済学に目覚めてヘッジファンドを創業したミドル 時代...。権威と定説と常識に戦いを挑んできた男の自伝。

2019:4./ 389p 978-4-478-10148-3 本体 ¥1,800+税

日本経済新聞 2019/05/11



よみがえる金融~協同組織金融機関の未来~

新田 信行 著 ダイヤモンド社

「未来志向で、開かれた、人とコミュニティの金融」を目指す第一勧業信用組合理事 長が、人と人との信頼関係に基づく信用供与や、未来志向で育てる人・事業・コミュニ ティなどについて、具体的に語る。

2017:5./ 283p 978-4-478-10266-4 本体 ¥1,600+税

日本経済新聞 2019/05/11



天才数学者、ラスベガスとウォール街を制す~偶然を支配した男のギャンブルと投 資の戦略~<下>

エドワード・O.ソープ、望月 衛 著

ダイヤモンド社

アメリカの数学者、エドワード・ソープ。天性のいたずら好きだった少年時代、数学力 でカジノに勝ち続けた青年時代、経済学に目覚めてヘッジファンドを創業したミドル 時代...。権威と定説と常識に戦いを挑んできた男の自伝。

2019:4./ 283p 978-4-478-10762-1 本体 ¥1,800+税

日本経済新聞 2019/05/11



日本の財政と社会保障~給付と負担の将来ビジョン~

持田 信樹 著

東洋経済新報社

日本の財政のマクロ・データに加え、いくつかのマイクロ・データの分析により判明し た納税者の深層心理や税・社会保険料負担の実態に基づき、日本の財政と社会保 障の改革のための将来ビジョンと道筋・時間軸を提言する。

2019:3./ 9p,284p 978-4-492-70150-8 本体 ¥4,500+税



イースタニゼーション~台頭するアジア、衰退するアメリカ~

ギデオン・ラックマン、小坂 恵理 著

日本経済新聞出版社

膨張を続ける中国、内向きになるアメリカ。巨大な富と権力が西から東へ移り、国際秩序は不安定の度を増す…。錯綜する世界の動向からイースタニゼーション(東洋化)の奔流を捉え、21世紀の国際政治の輪郭を浮き彫りにする。

2019:2./ 337p 978-4-532-17624-2 本体 ¥2,800+税

日本経済新聞 2019/05/11



アメリカの恩寵~宗教は社会をいかに分かち、結びつけるのか~

ロバート・D.パットナム、デヴィッド・E.キャンベル、柴内 康文 著柏書房

宗教的な分極化が進むアメリカで、宗教的な多様性が維持されているのはなぜか。 アメリカの共通の世界観や社会的ネットワークを束ねる存在である「宗教」の機能と影響、長期にわたる変化について、膨大な調査データを基に描く。 2019:2./ 673p 978-4-7601-5075-5 本体 ¥7,800+税

日本経済新聞 2019/05/11



西洋人の「無神論」日本人の「無宗教」(ディスカヴァー携書 214)

中村 圭志 著

ディスカヴァー・トゥエンティワン

欧米の無神論と日本の無宗教との微妙にズレた関係を、それぞれの社会の文化的 土俵となっているキリスト教と仏教の違いにまでさかのぼって考察。宗教の種々相をも 浮き彫りにする。

2019:4./ 301p 978-4-7993-2463-9 本体 ¥1,200+税

日本経済新聞 2019/05/11



食から描くインド~近現代の社会変容とアイデンティティ~

山根 聡 編

春風社

肉食か、菜食か? 飲酒か、禁酒か? 国、地域、宗教、カースト、ジェンダー…食にあらわれる「自己」と「他者」とは? イギリス植民地時代から現代まで、文学・歴史学・文化人類学にまたがり、インドの食を論じる。

2019:2./ 391p,4p 978-4-86110-633-0 本体 ¥3,700+税

日本経済新聞 2019/05/11



きょうも涙の日が落ちる~渥美清のフーテン人生論~

渥美 清 著

展望社

自分を語ることの極端に少なかった渥美清がわずかに残したエッセイ3篇と、吉行淳之介、安岡章太郎、淀川長治、森繁久弥、和田誠、加藤芳郎、近藤日出造らとの対談を収録。

2003:6./ 254p 978-4-88546-101-9 本体 ¥1,600+税

日本経済新聞 2019/05/11



貿易戦争の政治経済学〜資本主義を再構築する〜

ダニ・ロドリック、岩本 正明 著

白水社

世界を代表するグローバリゼーションの論客が、近年の国際社会の大きな変化を踏まえながら、国際貿易を中心に、幅広いテーマを政治学と経済学の立場から論じる。一般読者向けに書いた論考の中から、人気の高かったものを収録。

日本経済新聞 2019/05/11、東京・中日新聞 2019/05/26

2019:3./ 317p,23p 978-4-560-09688-8 本体 ¥2,400+税



腐敗と格差の中国史(NHK 出版新書 583)

岡本 隆司 著

NHK出版

なぜ中国では党幹部や政府役人の汚職がやまないのか。なぜ共産主義国にもかかわらず、貧富の差が拡大するのか。超大国を蝕み続ける「病理」の淵源、現代中国の実相に、実力派歴史家が迫る。

2019:4./ 236p 978-4-14-088583-3 本体 ¥850+税

日本経済新聞 2019/05/11、読売新聞 2019/05/19



十代に共感する奴はみんな?つき(文春文庫 さ72-1)

最果 タヒ 著

文藝春秋

カズハは 17 歳。いじめや自殺のあふれる日常で、恋をして、セックスして、喧嘩をして、ごはんを食べて...。詩人・小説家の最果タヒが描く「女子高生小説」。

2019:5./ 159p 978-4-16-791280-2 本体 ¥580+税

日本経済新聞 2019/05/11、読売新聞 2019/05/26



ぼくの週プロ青春記~90年代プロレス全盛期と、その真実~(朝日文庫 こ 40-5)

小島 和宏 著

朝日新聞出版

大仁田、北斗、サスケ他のインディー系プロレスラーの生きざまを追った出会いと別れ、アングルと取材拒否、離合集散と引退スクープ…。『週刊プロレス』に青春を捧げた元記者が、90年代プロレス全盛期とその真実を語る!

2019:4./ 397p 978-4-02-261965-5 本体 ¥900+税

日本経済新聞 2019/05/18



一私小説書きの日乗(角川文庫 に 18-3)

西村 賢太 著

KADOKAWA

芥川賞受賞後の騒動、東日本大震災、憧れの人との対面、私小説への思い、二度は 戻れぬ生育の町の変貌、編集者との確執…。平成無頼の私小説家・西村賢太が、 2011年3月から2012年5月までを淡々と綴った記録。 2014:10./ 308p 978-4-04-102045-6 本体 ¥600+税

日本経済新聞 2019/05/18



どうで死ぬ身の一踊り

西村 賢太 著

講談社

唯一の憧憬にすがって生きる男の、無様で惨めな「一踊り」を描いた、あまりに暗くて、惨めで、だから可笑しくて、稲光が目の前に閃く創作集。表題作のほか、「墓前生活」「一夜」の2篇を収録。

2006:1./ 211p 978-4-06-213306-7 本体 ¥1,500+税

日本経済新聞 2019/05/18



くるりのこと(新潮文庫 く-54-1)

くるり、宇野 維正 著

新潮社

1996 年に京都で誕生し、日本の音楽シーンを変えた唯一無二のロック・バンド「くるり」。バンドの変遷を辿りながら、経験した様々な出来事とその真相をメンバーが語り尽くす。メンバーへの新たな取材を加えて文庫化。

2019:5./ 340p 978-4-10-101371-8 本体 ¥590+税



苦役列車(新潮文庫 に23-4)

西村 賢太 著

新潮社

友もなく、女もなく、1 杯のコップ酒を心の慰めに、その日暮らしの港湾労働で生計を立てている 19 歳の貫多。或る日、彼の生活に変化が訪れたが…。「落ちぶれて袖に涙のふりかかる」を併録。

2012:4./ 170p 978-4-10-131284-2 本体 ¥400+税

日本経済新聞 2019/05/18



ボダ子

赤松 利市 著新潮社

バブルのあぶく銭を?み、順風満帆に過ごしてきた大西浩平の人生の歯車は、愛する娘が境界性人格障害と診断されてから狂い始めた。 震災を機にビジネスが破綻した大西は、ある事業の実現へ奔走するが...。

2019:4./ 331p 978-4-10-352481-6 本体 ¥1,550+税

日本経済新聞 2019/05/18



キャッシュレス国家~「中国新経済」の光と影~(文春新書 1213)

西村 友作 著

文藝春秋

国家主導でキャッシュレスを推進する中国。モバイル決済が普及し、それを前提とした新ビジネスが続々と誕生。しかも、その利用履歴が国民の統治制度に組み込まれつつある。壮大な社会実験に取り組む中国の現状を紹介する。

2019:4./ 234p 978-4-16-661213-0 本体 ¥850+税

日本経済新聞 2019/05/18



政治権力と行政組織~中央省庁の日本型制度設計~

河合 晃一 著

勁草書房

日本の中央省庁はどのようにデザインされているのか。90 年代の行政改革以降に創設された中央省庁組織の制度配置や権限といった組織の機構的要素に焦点をあてた実証分析を行い、組織再編を巡る政治家と官僚の関係を描き出す。

2019:3./ 3p,166p 978-4-326-30276-5 本体 ¥3,800+税

日本経済新聞 2019/05/18



データ・ドリブン・エコノミー~デジタルがすべての企業・産業・社会を変革する~

森川 博之 著ダイヤモンド社

リアルな世界から集めたデータが新たな価値を生み出し、あらゆる企業・産業・社会を変革していく「データ・ドリブン・エコノミー(データ駆動型経済)」。IoT の第一人者がそれについて、事例を交えながら詳しく紹介する。

2019:4./ 290p 978-4-478-10636-5 本体 ¥1,600+税

日本経済新聞 2019/05/18



「第四次産業革命」を生き抜く~ダボス会議が予測する混乱とチャンス~

クラウス・シュワブ、小川 敏子 著

日本経済新聞出版社

AI、バイオテクノロジー…。「第四次産業革命」の主役となる新技術の恩恵を人類が 共有し、無秩序と富の独占を避けるべく私たちにできることとは何か。 グローバルリー ダーとの対話を通じて、来たるべき新世界への備えを説く。

978-4-532-32250-2 本体 ¥1,600+税

2019:2./ 418p



現代の職人~質を極める生き方、働き方~(PHP 新書 1184)

早坂 隆 著

PHP研究所

日本の職人の手による甲冑や陶器、日本酒などが世界の人びとを惹き付けてやまないのはなぜなのか。全国 11 の地域で働く職人の、質を極める生き方・働き方を紹介する。『Voice』連載を新書化。

2019:4./ 202p 978-4-569-84290-5 本体 ¥860+税

日本経済新聞 2019/05/18



みんなで戦争~銃後美談と動員のフォークロア~

重信 幸彦 著

青弓社

プロパガンダを意図した「愛国の物語」に溢れていた、満州事変から日中戦争へと続く戦時下の日常=銃後。銃後美談から戦意高揚や動員の言葉を慎重にはぎ取り、総力戦下の矛盾や善意という暴力を浮き彫りにする。

2019:3./ 406p 978-4-7872-2082-0 本体 ¥3,200+税

日本経済新聞 2019/05/18



しょぼい喫茶店の本

池田 達也 著百万年書房

東京・新井薬師に実在する「しょぼい喫茶店」という名前の喫茶店。 就職活動に失敗 した著者が、その店を作るまでと、作ってからを綴った実話。 イラストも掲載する。 2019:4./ 195p 978-4-9910221-7-3 本体 ¥1,400+税

日本経済新聞 2019/05/18



ヘンな名前の植物~ヘクソカズラは本当にくさいのか~

藤井 義晴 著

化学同人

ハキダメギク、オオイヌノフグリ、ママコノシリヌグイ...。 ヘンな名前の植物を「きたない名前・きれいな名前」「不吉な名前」「めでたい名前」などにわけて掲載。 ヘンな学名 や英語名も紹介する。

2019:4./ 244p 978-4-7598-1989-2 本体 ¥1,800+税

日本経済新聞 2019/05/18、朝日新聞 2019/05/25



創造と狂気の歴史~プラトンからドゥルーズまで~(講談社選書メチエ 696)

松本 卓也 著

講談社

「創造と狂気」という問題は西洋思想史の中でどのように扱われてきたのか。プラトン、アリストテレスから、デカルト、カント、ヘーゲル、ラカン、デリダ、ドゥルーズまで、様々な哲学者や思想家の議論をもとに追う。

2019:3./ 381p 978-4-06-515011-5 本体 ¥2,150+税

日本経済新聞 2019/05/25



数学する人生(新潮文庫 お-105-1)

森田 真生 編岡 潔 著新潮社

日本が誇る世界的数学者にして、畑仕事と研究だけに没頭した孤高の人-。数学の枠にとどまらない、その思想エッセンスを余すところなく一冊に凝縮。晩年の大学講義も収録する。

日本経済新聞 2019/05/25

2019:4./ 325p 978-4-10-101251-3 本体 ¥550+税



肖像彫刻家

篠田 節子 著

新潮社

芸術の道を諦め、八ケ岳山麓で銅像職人として再出発した正道。しかし彼の作品には、文字通り魂が宿ってしまうのだった。周囲の思惑そっちのけで、銅像たちが語り始めたホンネとは…。『小説新潮』掲載を単行本化。

2019:3./ 302p 978-4-10-313365-0 本体 ¥1,700+税

日本経済新聞 2019/05/25



アダム·スミスはブレグジットを支持するか?~12 人の偉大な経済学者と考える現代の課題~

リンダ・ユー、久保 恵美子 著

早川書房

ブレグジット、トランプ現象への処方箋は? アダム・スミスからロバート・ソローまで 12 人の経済学者の思想と業績を読み解き、現代の課題解決策を探る。BBC などで活 躍する女性エコノミストによる経済思想&現代経済入門。 2019:4./ 415p 978-4-15-209856-6 本体 ¥2,700+税

日本経済新聞 2019/05/25



天才の思考~高畑勲と宮崎駿~(文春新書 1216)

鈴木 敏夫 著

文藝春秋

「風の谷のナウシカ」から「風立ちぬ」「かぐや姫の物語」まで。高畑勲と宮崎駿、二人の天才の創造の秘密、強烈過ぎる個性のぶつかり合いを、最も間近で支え続けたプロデューサーが語る。最初で最後の特別鼎談も収録。

2019:5./ 426p 978-4-16-661216-1 本体 ¥1,200+税

日本経済新聞 2019/05/25



台湾物語~「麗しの島」の過去・現在・未来~(筑摩選書 0174)

新井 一二三 著

筑摩書房

ガイドブックよりも深く知りたい人にむけて、台湾でも活躍する日本人作家が、歴史、ことば、神様、建築、地名、映画、そして台北、台中、台南などの街と人びとの物語を綴る。

2019:4./ 238p 978-4-480-01681-2 本体 ¥1,500+税

日本経済新聞 2019/05/25



カムパネルラ(創元 SF 文庫 SF や 3-1)

山田 正紀 著

東京創元社

宮沢賢治研究に生涯を捧げた母の死。遺言に従い、花巻まで散骨に訪れた僕は、物語と現実が混淆する異様な殺人事件に遭遇し…。「銀河鉄道の夜」をモチーフとした本格長編 SF。

2019:2./ 375p 978-4-488-77701-2 本体 ¥920+税

日本経済新聞 2019/05/25



現代アメリカ政治とメディア

前嶋 和弘、山脇 岳志、津山 恵子 著東洋経済新報社

危機に瀕するアメリカのメディア、「トランプ王国」にみるメディア消費、規制緩和とテクノロジーの進展、アメリカにおける調査報道の現在と今後…。分極化するメディア、変貌する政治の行方を論じる。

日本経済新聞 2019/05/25

2019:4./ 12p,398p 978-4-492-76247-9 本体 ¥2,800+税



ROE を超える企業価値創造

柳 良平、広木 隆、井出 真吾 著 日本経済新聞出版社

なぜ日本企業は不当に低く評価されているのか。企業財務、市場分析の第一人者 が、短期的な ROE 偏重主義を排し、財務・非財務の両軸から徹底分析。ROE と ESG を融合した高付加価値経営を提言する。著者らの鼎談も収録。

2019:3./ 286p 978-4-532-32261-8 本体 ¥2,200+税

日本経済新聞 2019/05/25



世界をダメにした 10 の経済学~ケインズからピケティまで~

ビョルン・ヴァフルロース、関 美和 著

日本経済新聞出版社

ピケティは時代錯誤だし、クルーグマンは無責任すぎる...。経済学の教授から、北欧 最大の金融グループのトップとなった著者が、自由放任主義を批判する 10 の原則と 理論を取り上げ、現実と照らし合わせて検証する。

2019:4./ 394p 978-4-532-35709-2 本体 ¥2,300+税

日本経済新聞 2019/05/25



欧州統合史~二つの世界大戦からブレグジットまで~(Minerva Modern History 1)

益田 実、山本 健 著

ミネルヴァ書房

戦後ヨーロッパはいかなる道を歩んだのか。大きな争点としてあり続けた「統合」の歴 史と現状はいかなるものなのか。「3 つの統合史の流れ」と「3 つの問題に至る流れ」と いう2つの視点を交錯させつつ描き出す。

2019:3./ 20p,356p,12p 978-4-623-08491-3 本体 ¥3,800+税

日本経済新聞 2019/05/25



日本経済低成長からの脱却~縮み続けた平成を超えて~

松元 崇著

NTT出版

主要先進国の中で最低となっている日本の成長率。日本企業が成長のための投資 を行うようにするにはどうしたらいいか? アベノミクスの旗振り役として活躍した著者 が、日本経済復活の処方箋を提案する。

2019:3./ 238p 978-4-7571-2379-3 本体 ¥1,900+税

日本経済新聞 2019/05/25



エイズは終わっていない~科学と政治をつなぐりつの視点~

ピーター・ピオット、宮田 一雄、樽井 正義 著

慶應義塾大学出版会

エイズの終結に向けて、科学には、そして政治には何ができるのか。元 UNAIDS(国 連合同エイズ計画)事務局長が、エイズ運動の軌跡と未来への道筋を語る。パリのコ レージュ・ド・フランスで行った講義録の邦訳。

2019:2./ 10p,225p,12p 978-4-7664-2541-3 本体 ¥2,700+税

日本経済新聞 2019/05/25



声優という生き方(イースト新書 Q Q058)

中尾 隆聖 著

イースト・プレス

若者の人気職業・声優。 華やかさの陰には厳しい現実も待ち受けている。 芸歴 60 年 超のレジェンドが、「うまくやろうとするな」「売れるのが唯一の価値観か」など、成功法 則のない業界だからこそ必要なスキルと心構えを語る。

978-4-7816-8058-3 本体 ¥840+税

2019:5./ 191p



大読書日記

鹿島 茂 著

青土社

激動する時代には、あらゆる本が人生の導き手となる! 神保町やパリの書店を探訪 し、古今東西の膨大な知見を渉猟する稀代の愛書家が、2001年から2015年まで、 万巻の書との出逢いを綴る。『週刊文春』連載を単行本化。

2015:5./ 645p,19p 978-4-7917-6865-3 本体 ¥3,600+税

日本経済新聞 2019/05/25



新しいチンパンジー学~わたしたちはいま「隣人」をどこまで知っているのか?~

クレイグ・スタンフォード、的場 知之 著

青土社

特色あるフィールド調査の蓄積や、最新の DNA 解析は、これまでの定説をどのよう に覆したのか。野生チンパンジー研究におけるおよそ 20 年の主要な発見を紹介し、 チンパンジーの多様性と普遍性を明らかにする。

2019:3./ 390p,4p 978-4-7917-7151-6 本体 ¥2,600+税

日本経済新聞 2019/05/25



世界の経済学 50 の名著(LIBERAL ARTS COLLEGE)

T.バトラー=ボードン、大間知 知子 著

ディスカヴァー・トゥエンティワン

必読書の要点が 5 分でわかる! 主要な 50 冊の経済学書のエッセンスを紹介する手 引書。経済理論や経済学史を見渡し、産業革命の始まりから、インターネットや人工 知能が鍵を握る「セカンド・マシン・エイジ」まで道案内する。

2018:10./735p 978-4-7993-2372-4 本体 ¥2,700+税

日本経済新聞 2019/05/25



自分で「始めた」女たち~「好き」を仕事にするための最良のアドバイス&インスピレ ーション~

グレース・ボニー、月谷 真紀 著

海と月社

料理研究家、デザイナー、作家、ミュージシャン...。さまざまな仕事で活躍中の 112 人の女性へのインタビューをまとめた本。女性たちの「ことば」と「姿」を紹介し、好きな ことや夢を追いかけた先にある美しい世界を伝える。

2019:5./359p 978-4-903212-66-1 本体 ¥2,000+税

日本経済新聞 2019/05/25



在日朝鮮人とハンセン病

金 貴粉 著

クレイン

在日朝鮮人ハンセン病患者が辿ってきた道のりとは-。在日3世の著者が各地の療 養所を訪れ、そこで暮らす朝鮮人患者への聞き書きと、朝鮮人患者団体や各療養所 で発行されている機関紙・誌等の記録を通して明らかにする。

2019:3./ 304p 978-4-906681-52-5 本体 ¥2,000+税

日本経済新聞 2019/05/25



おまえの罪を自白しろ

真保 裕一 著

文藝春秋

総理がらみの疑惑を糾弾されている代議士・宇田清治郎。その最中、3 歳の孫娘が 誘拐された。犯人の要求は記者会見での「罪の告白」。保身のための駆け引きを模索

する官邸サイドと戦う宇田一族。「家族の戦い」が始まる!

毎日新聞 2019/05/04

2019:4./ 313p 978-4-16-391004-8 本体 ¥1,600+税



手で見るいのち~ある不思議な授業の力~

柳楽 未来 著

岩波書店

視覚障害の子どもたちが動物の骨を触って学ぶ生物の授業。それは教師たちの熱意から始まった。学ぶことの本質に触れる、新鮮な感動をよぶルポ。『毎日新聞デジタル版』連載に加筆。ジャケットそでにデキストデータ引換券付き。

2019:2./ 7p,178p 978-4-00-024059-8 本体 ¥1,500+税

毎日新聞 2019/05/05



社会学史(講談社現代新書 2500)

大澤 真幸 著

講談社

マルクスもフロイトも社会学者だった! アリストテレスからカンタン・メイヤスーまで、知の巨人が産み出した思想を、網羅的に平易な講義文体で解説する。現代社会をよりよく生きるために必須の知恵がつまった一冊。

2019:3./ 638p 978-4-06-288449-5 本体 ¥1,400+税

毎日新聞 2019/05/05



権力と支配(講談社学術文庫 2091)

マックス・ウェーバー 著

講談社

支配のあり方について、服従する側の動機から接近。正当性のタイプに基づく支配の3類型など、ひとつひとつの概念を緻密に検討し、支配の本質に迫る。ウェーバーの著作全体への入口とも言える書。

2012:1./ 355p 978-4-06-292091-9 本体 ¥1,180+税

毎日新聞 2019/05/05



ディオゲネス変奏曲(HAYAKAWA POCKET MYSTERY BOOKS 1942)

陳 浩基 著

早川書房

中国語ミステリの第一人者による短篇集。大学の講義室にまぎれこんだ謎の人物「X」を捜す推理合戦の?末を描いた「見えない X」、時間を売買できる世界を描いた「時は金なり」など、奇想と仕掛けに満ちた全 17 篇を収録。

2019:4./ 362p 978-4-15-001942-6 本体 ¥1,700+税

毎日新聞 2019/05/05



内村鑑三~その聖書読解と危機の時代~(筑摩選書 0172)

関根 清三 著

筑摩書房

戦争と震災。この 2 つの危機に対し、内村鑑三はどのように立ち向かったのか。聖書学の視点から、内村の聖書研究に基づく現実との格闘を追っていく。近代日本を代表するキリスト者の思想的可能性と現代的射程を問う一冊。

2019:3./ 382p 978-4-480-01678-2 本体 ¥1,800+税

毎日新聞 2019/05/05



ネオナチの少女

ハイディ・ベネケンシュタイン、平野 卿子 著 筑摩書房

18 歳まで私はナチだった-。ミュンヘン近郊の右翼家庭に生まれ、幼いときから徹底的な思想教育を施されたひとりの若い女性が、やがて自らのありように疑問を抱き、右翼社会から脱退するまでの波乱に満ちた日々を綴る。

毎日新聞 2019/05/05

2019:1./ 262p 978-4-480-83651-9 本体 ¥2,300+税



平成の経済

小峰 隆夫 著

日本経済新聞出版社

政策混迷が招いた熱狂・転落・苦闘…。経済白書でバブル崩壊を分析し、未曾有の 事態に向き合い続けたエコノミストが、約 30 年にわたる平成の経済を振り返り、次代 への教訓を論じる。 2019:4./ 5p,312p 978-4-532-35801-3 本体 ¥1,800+税

毎日新聞 2019/05/05



陸軍参謀川上操六~日清戦争の作戦指導者~(歴史文化ライブラリー 480)

大澤 博明 著

吉川弘文館

薩摩出身の陸軍軍人で大本営参謀として日清戦争を勝利へ導いた川上操六。苦悩しながらの作戦指導や戦後の軍拡計画に尽力した姿から、彼の知られざる実像に迫るとともに、日本の軍事的近代化の過程も振り返る。

2019:2./ 7p,289p 978-4-642-05880-3 本体 ¥1,900+税

毎日新聞 2019/05/05



台湾名建築めぐり

辛 永勝、楊 朝景、小栗山 智 著 エクスナレッジ

異国風情漂う洋館、海岸に並ぶ伝統家屋、軍事施設を改装したブックカフェ...。離島を含めた台湾各地の古い建物を取り上げ、鑑賞ポイントと共に独特の建築様式や、 多様な文化を紹介する。「台湾レトロ建築案内」の続巻。 2019:3./ 191p 978-4-7678-2605-9 本体 ¥1,600+税

毎日新聞 2019/05/05



不思議の国のアリス 鏡の国のアリス〜新訳〜

ルイス・キャロル、高山 宏、建石 修志 著

青土社

全編に溢れ出る夢とファンタジーで、熱烈な読者を獲得する「不思議の国のアリス」 「鏡の国のアリス」。21 世紀のアリスを求め、新訳テクストと描き下ろし絵画でアリス世界を極める夢のコラボレーション。 2019:3./ 251p 978-4-7917-7150-9 本体 ¥3,600+税

毎日新聞 2019/05/05



定年後に読みたい文庫 100 冊(草思社文庫 せ 1-4)

勢古 浩爾 著

草思社

てのひらに宇宙がある-。文庫本をこよなく愛する著者が、一切の見栄や世評からの影響を排し、「おもしろいかどうか」だけの基準で選んだ 100 冊を紹介する。「定年後のリアル」シリーズ第3弾。

2015:10./ 526p 978-4-7942-2160-5 本体 ¥920+税

毎日新聞 2019/05/05



「10%消費税」が日本経済を破壊する~今こそ真の「税と社会保障の一体改革」を

~

藤井 聡 著

晶文社

2019 年 10 月に予定されている消費増税が、なぜ日本経済に壊滅的な打撃を与えるのか。その理路を明らかにするとともに、消費増税にかわる他の税制政策、さらには日本が目指すべき社会保障の設計図を提示する。

毎日新聞 2019/05/05

2018:11./ 194p 978-4-7949-7063-3 本体 ¥1,500+税



アマゾンのすごい問題解決

佐藤 将之 著

宝島社

人を育てられない。アイデアが形にならない...。仕事のマイナスをプラスに! アマゾン ジャパンの立ち上げメンバーが、最速×最短で確実に利益を生み出す仕事術を公開 する。「アマゾンのすごいルール」に続く第2弾。

2019:4./ 207p 978-4-8002-8989-6 本体 ¥1,500+税

毎日新聞 2019/05/05



アベノメディアに抗う

臺 宏士 著

緑風出版

?と強弁が罷り通り、道理が引っ込む「アベノメディア」。「検証アベノメディア」出版後 の報道界の周辺で起きた出来事を主に取り上げ、ジャーナリストや市民の抵抗を活 写し、安倍政権と保守メディアの腐敗を曝く。

2018:12./ 269p 978-4-8461-1821-1 本体 ¥2,000+税

毎日新聞 2019/05/05



鹿踊りのはじまり(ミキハウスの絵本)

宮沢 賢治 著

三起商行

6 疋ばかりの鹿が、嘉十が忘れていった手拭を中心に環になってぐるぐる廻ってい た。嘉十がそれをそっと見ていると、耳がきいんと鳴りました。そして鹿のことばがきこ えてきて...。宮沢賢治の童話を絵本化。

2018:10./40p 978-4-89588-142-5 本体 ¥1,500+税

毎日新聞 2019/05/05



韓めし政治学(角川新書 K-253)

黒田 勝弘 著

KADOKAWA

「めし食ったか?」が韓国の日常のあいさつ。金正恩はなぜ冷?を持ち込んだのか。韓 国人はなぜイヌを食わなくなったのか。食と切り離せない朝鮮半島の政治を、在韓 40 年の日本人記者が読みとく。

2019:3./301p 978-4-04-082273-0 本体 ¥860+税

毎日新聞 2019/05/05、産経新聞 2019/05/12



歴史学入門 新版(岩波テキストブックス α)

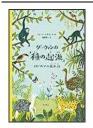
福井 憲彦 著

岩波書店

社会史がきりひらいた問題意識をふまえつつ、史料論、地域とネットワーク、身体性と 心性、家族とソシアビリテ、記憶と表象など、現代歴史学の考え方を明快かつ綜合的 に解説。「宗教」「ジェンダー」に関する章を加えた新版。

2019:3./ 11p,194p,4p 978-4-00-028921-4 本体 ¥2,000+税

毎日新聞 2019/05/12



ダーウィンの「種の起源」~はじめての進化論~

サビーナ・ラデヴァ 著

岩波書店

なぜ生きものは環境にあわせて、さまざまな見かけや性質を身につけることができる のか。生命の「なぜ」を説明した、ダーウィンの「種の起源」を、美しい絵と文章でわか りやすく語りなおす。

2019:4./56p 978-4-00-112678-5 本体 ¥2,300+税



ぬけ穴の首~西鶴の諸国ばなし~(岩波少年文庫 619)

井原 西鶴、廣末 保 著

岩波書店

江戸時代の作家・井原西鶴の作品を読みやすく翻案。財産争いをめぐる悲喜劇「牛 と刀」、夜の芝居小屋で起きる怪談「真夜中の舞台」など、笑いと悲哀がまざりあった 世の姿を鋭く描き出した全7編を収録。 2019:3./ 225p 978-4-00-114619-6 本体 ¥640+税

毎日新聞 2019/05/12



昭和の怪物七つの謎<続>(講談社現代新書 2518)

保阪 正康 著

講談社

三島由紀夫、近衛文麿、田中角栄、後藤田正晴…。昭和史研究の第一人者が、これまでに取材した「昭和の怪物」たち本人、側近、家族らの証言から、「歴史の闇」にあらためて光をあてる。『サンデー毎日』連載を元に新書化。

2019:4./ 246p 978-4-06-514906-5 本体 ¥860+税

毎日新聞 2019/05/12



トリニティ

窪 美澄 著

新潮社

50 年前、出版社で出会った 3 人の女たちが半生をかけ、何を代償にしても手に入れようとした<トリニティ=かけがえのない 3 つのもの>とは? 昭和・平成から未来へと?ぐ希望を描く。『小説新潮』連載を単行本化。

2019:3./ 461p 978-4-10-325925-1 本体 ¥1,700+税

毎日新聞 2019/05/12



世界史の新常識(文春新書 1208)

文藝春秋 編

文藝春秋

古代ローマ帝国、ルネサンス、ムスリム商人の活躍、モンゴル帝国、産業革命、第二次世界大戦、現代中国の台頭…。知っているようで知らない世界の歴史を、新しい視点で解説する。テーマ別ブックガイドも収録。

2019:3./ 315p 978-4-16-661208-6 本体 ¥880+税

毎日新聞 2019/05/12



やなせたかし おとうとものがたり

フレーベル館

幼くして父を亡くし、母とも離ればなれになった、兄と弟。アンパンマンの作者・やなせたかしが、22 歳で戦死した弟・千尋との思い出を詩と絵で綴る。未発表エッセイも収録。

2014:9./ 53p 978-4-577-04259-5 本体 ¥1,500+税

毎日新聞 2019/05/12



活版印刷三日月堂<4> 雲の日記帳(ポプラ文庫 ほ 4-4)

ほしお さなえ 著

ポプラ社

小さな活版印刷所「三日月堂」の店主・弓子が活字を拾い刷り上げるのは、誰かの忘れていた記憶や、言えなかった言葉。仕事を続ける中で、弓子が見つけた「自分の想い」と「三日月堂」の夢とは-。シリーズ完結編。

978-4-591-15999-6 本体 ¥680+税

2018:8./335p



庭とエスキース

奥山 淳志 著みすず書房

北海道の丸太小屋で自給自足の生活を営み、糧を生みだす庭とともに暮らす「弁造さん」。その姿を 14 年に渡り記録した写真家による写文集。弁造さんの"生きること"を思い紡いだ 24 篇の記憶の物語と、40 点の写真を収録。

2019:4./ 284p 図版 40p 978-4-622-08795-3 本体 ¥3,200+税

毎日新聞 2019/05/12



川端康成と書~文人たちの墨跡~

水原 園博 著

求龍堂

川端康成が愛蔵した書を、一挙公開。歴史に名を残す名筆家の書や、菊池寛、太宰治、坂口安吾、三島由紀夫、谷崎潤一郎ら文豪の書簡、初恋の人に宛てた川端康成の未投函書簡などを、新発見の美術品も交えて紹介する。

2019:2./ 213p 978-4-7630-1825-0 本体 ¥3,000+税

毎日新聞 2019/05/12



日本の水産資源管理~漁業衰退の真因と復活への道を探る~

片野 歩、阪口 功 著 慶應義塾大学出版会

日本の漁獲量が 60 年前と同水準にまで後退する一方、世界の漁業は躍進を続けている。公的な規制や、漁業組合・業界団体による自主的な管理について語り、再び漁業が勢いを取り戻すための方策を提示する。

2019:2./ 14p,283p 978-4-7664-2580-2 本体 ¥2,500+税

毎日新聞 2019/05/12



敷石のパリ~カラフルなざわめきの足音へ~

清岡 智比古 著

トランジスター・プレス

清岡智比古、ミシマショウジ、佐藤由美子、管啓次郎の 4 人の詩人が、パリの街やそこで息づく人々の姿を異邦人の感性で綴った詩を、北井晴彦の写真とともに収録する。ソーイングサークル NU☆MAN とコラボしたしおり付き。

2018:12./ 101p 978-4-902951-09-7 本体 ¥1,600+税

毎日新聞 2019/05/12



みぎわに立って

田尻 久子 著

里山社

熊本地震後、新店舗へと移転した橙書店。変わらぬ日常を作り出そうと静かな強い意志をもつ店主のもとに、いつもの客が集い、日々が始まっていく…。橙書店の 365 日を綴ったエッセイ集。『西日本新聞』連載を大幅に加筆訂正。

2019:3./ 175p 978-4-907497-08-8 本体 ¥1,900+税

毎日新聞 2019/05/12



壱人両名~江戸日本の知られざる二重身分~(NHK ブックス 1256)

尾脇 秀和 著

NHK出版

ある時は百姓、ある時は侍-。江戸時代、自在に身分をまたぐ人々が全国に大勢いた。彼らはなぜ別人に成りすますのか? 名もなき人々の言動を生き生きと再現しながら、江戸時代特有の秩序観を浮かび上がらせる。

978-4-14-091256-0 本体 ¥1,500+税

2019:4./ 294p

毎日新聞 2019/05/12、日本経済新聞 2019/05/18



大英帝国は大食らい~イギリスとその帝国による植民地経営は、いかにして世界各 地の食事をつくりあげたか~

リジー・コリンガム、松本 裕 著

河出書房新社

16 世紀から現代に至る大英帝国の歴史をたどり、イギリスが世界各地の植民地でい かに本国のための食料を作らせ、それがいかに現代の食に影響を与えたかを解説。 資料をもとに、各時代を生きた実在の人々の食事風景も描き出す。

2019:3./ 398p.47p 978-4-309-22759-7 本体 ¥3,200+税

毎日新聞 2019/05/12、日本経済新聞 2019/05/18



創造された「故郷」~ケーニヒスベルクからカリーニングラードへ~

ユーリー・コスチャショーフ、橋本 伸也、立石 洋子 著

岩波書店

第2次世界大戦の結果、東プロイセンのドイツ人は追放され、ソ連各地から来た移住 者が新しい都市を建設することになった。戦争で住民が総入れ替えになった地域の 稀有な歴史を、政策者と住民のダイナミズムを通して描く。

2019:2./ 12p,259p,18p 978-4-00-023738-3 本体 ¥3,600+税

毎日新聞 2019/05/19



文化大革命五十年

楊 継縄、辻 康吾 編

楊 継縄、現代中国資料研究会 著

岩波書店

文化大革命の勝利者は実権派であり、敗北者は毛沢東を崇拝する造反派であった。 流血は文革終了後も続き、犠牲者数は公表された数百倍にものぼる。文革を通じて 現代中国の真実に迫る。

2019:1./ 27p,236p,48p 978-4-00-061307-1 本体 ¥2,900+税

毎日新聞 2019/05/19



波紋と螺旋とフィボナッチ(角川ソフィア文庫 K132-1)

近藤 滋 著

KADOKAWA

シマウマが縞模様である本当の理由とは? 指紋のパターンは何によって決まる? カメ の甲羅はどうやって大きくなる? 生物の模様や形態に関するサイエンスの話題を取り 上げ、やさしく楽しく解説する。

2019:3./300p 978-4-04-400459-0 本体 ¥960+税

毎日新聞 2019/05/19



ゆるキャラの恐怖(桑潟幸一准教授のスタイリッシュな生活 3)

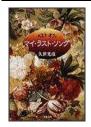
奥泉 光 著

文藝春秋

下流大学教師・クワコーへの次なる指令は、大学対抗ゆるキャラコンテストに着ぐるみ で出場すること。審査委員長はみうらじゅん。「おそろしき事がおこるぞよ」と脅迫状が ...。脱力系ミステリー。『オール讀物』掲載を単行本化。

2019:3./ 261p 978-4-16-390996-7 本体 ¥1,700+税

毎日新聞 2019/05/19



ベスト・オブ・マイ・ラスト・ソング(文春文庫)

久世 光彦 著

文芸春秋

人生の最期の刻に何を聴きたいか。 急逝した著者のライフワークから、生前親しかっ

た小林亜星氏、小泉今日子氏がベスト版を編集

毎日新聞 2019/05/19

2009:9./ 477p 978-4-16-758107-7 本体 ¥880+税





渋沢栄一近代の創造(NON SELECT)

山本 七平 著

祥伝社

日本の急速な近代化はなぜ可能だったのか。明治という一大変革期を乗り越えて、 大きな成果をもたらした渋沢栄一の生き方を通じて、大変革期を乗りきる思想と行動 を学ぶ。 2009:6./ 658p 978-4-396-50100-6 本体 ¥1,400+税

毎日新聞 2019/05/19



論語と算盤~現代語訳~(ちくま新書)

渋沢 栄一、守屋 淳 著

筑摩書房

日本語実業界の父が、生涯を通じて貫いた経営哲学とはなにか。「利潤と道徳を調和させる」という、経済人がなすべき道を示した「論語と算術」の現代語抄訳を収める。十の格言、渋沢栄一小伝も掲載。

2010:2./ 249p 978-4-480-06535-3 本体 ¥820+税

毎日新聞 2019/05/19



これからの美術がわかるキーワード 100(BT BOOKS)

美術手帖 編

美術出版社

つねに同時代を扱ってきた「コンテンポラリー・アート」とは何かを、100のキーワードを通して問い直す書。2010年前後から浮上してきたアートシーンでの概念や動向を取り上げ、来たるべき 2020年代への視座を描く。

2019:4./ 148p 978-4-568-43112-4 本体 ¥1,500+税

毎日新聞 2019/05/19



柳家喬太郎のヨーロッパ落語道中記

柳家 喬太郎 著フィルムアート社

字幕付き落語に挑戦したデンマーク、アイルランドでのワークショップ、ケンブリッジ大学での落語公演、アイスランド大使公邸での晩餐会...。柳家喬太郎はじめての欧州ツアーの?末を、写真とともに一挙公開。

2019:3./ 245p 978-4-8459-1816-4 本体 ¥1,900+税

毎日新聞 2019/05/19



科学の女性差別とたたかう~脳科学から人類の進化史まで~

アンジェラ・サイニー、東郷 えりか 著

作品社

「"女脳"は論理的ではなく感情的」など、科学の世界においても、女性に対する偏見は歴史的に根強く存在してきた。19 世紀から現代までの科学史や最新の研究成果を徹底検証し、まったく新しい女性像を明らかにする。

2019:4./ 294p,32p 978-4-86182-749-5 本体 ¥2,400+税

毎日新聞 2019/05/19



セレモニー

王 力雄、金谷 譲 著

藤原書店

国家安全委員会弁公室の蘇主任は、全国民を監視する IT 技術を駆使して、極秘の計画をスタートさせる。それは自身が"上"へと這い上がるための周到な計画だったが…。 反体制派の著名作家による、中国未公刊の問題作。

毎日新聞 2019/05/19

2019:4./ 441p 978-4-86578-222-6 本体 ¥2,800+税



「社共合同」の時代~戦後革命運動史再考~

河西 英通 著

同時代社

1948 年 12 月、青森県で共産党と社会党が合同大会を開催し、統一革命党をめざす「社共合同」が始まった。それは戦後革命史にどう位置づけられるのか。「社共合同」の実態を明らかにし、その歴史的意味を問う。

2019:3./ 566p,16p 978-4-88683-853-7 本体 ¥5,800+税

毎日新聞 2019/05/19



茫々~句集~

中嶋 鬼谷 著深夜叢書社

朧夜のねぢり捨てたる稿軋る 板壁に牛飼の遺書やませ吹く 西行忌花と死の文字相似たり 田仕舞のけむり谷間を動かざる 2005 年から 2018 年までの作品を収録した第3句集。

2019:4./ 189p 978-4-88032-451-7 本体 ¥2,800+税

毎日新聞 2019/05/20



浮沈•踊子~他三篇~(岩波文庫 31-042-11)

永井 荷風 著

岩波書店

昭和 10 年代の東京を舞台に、ヒロインの起伏にとんだ日々を描いた「浮沈」など、戦時下に執筆された 2 篇の小説と 3 篇の随筆を収録。時代をするどく批判した文学者・荷風による抵抗の文学。

2019:4./ 298p 978-4-00-360034-4 本体 ¥700+税

毎日新聞 2019/05/26



マジカルグランマ

柚木 麻子 著朝日新聞出版

75 歳を目前に再デビューした元女優の正子。しかし、夫の死により仮面夫婦であることがバレてしまい、さらに夫には多額の借金が…。正子の姿を痛快に描く老境エンターテインメント。『週刊朝日』連載を加筆し単行本化。

2019:4./ 334p 978-4-02-251604-6 本体 ¥1,500+税

毎日新聞 2019/05/26



良寛~旅と人生~(角川ソフィア文庫)

松本 市寿 著 角川学芸出版

生涯に残した数多くの漢詩、和歌、俳句から心に残る優れた作品を精選しわかりやすい現代語訳・解説とともに掲載。その他名筆・名言、解良栄重の手による『良寛禅師奇話』も取り上げながら、良寛の生涯を丁寧に辿る。

2009:4./ 268p 978-4-04-407206-3 本体 ¥720+税

毎日新聞 2019/05/26



偶然の聖地

宮内 悠介 著

"偶然の旅行者"たちは、山を探す-。国、ジェンダー、SNS…。ボーダーなき時代に、鬼才・宮内悠介が描く世界地図。本文に 300 超の「註」を付した長編小説。『IN POCKET』連載を書籍化。

2019:4./ 330p 978-4-06-515334-5 本体 ¥1,650+税



ばれてもともと~色川武大遺稿集~(P+D BOOKS)

色川 武大 著

小学館

"昭和最後の無頼派"といわれた色川武大が人生のさまざまな局面で得た人生訓の 数々を縦横無尽に綴った最後のエッセイ集。「霊柩車が欲しい」「和田誠は宇宙人」 「陽水さんがうらやましい」など全47編を収録。

2019:3./ 299p 978-4-09-352360-8 本体 ¥550+税

毎日新聞 2019/05/26



パスタぎらい(新潮新書 809)

ヤマザキ マリ 著

新潮社

フィレンツェの絶品「貧乏料理」、シチリア島で?張った餃子...。イタリアに暮らして 35 年の著者が、胃袋で世界とつながった経験を美味しく綴る食文化エッセイ。フジ日本 精糖株式会社ホームページ連載を加筆し書籍化。

2019:4./ 205p 978-4-10-610809-9 本体 ¥740+税

毎日新聞 2019/05/26



安彦良和の戦争と平和~ガンダム、マンガ、日本~(中公新書ラクレ 646)

杉田 俊介 著

中央公論新社

「機動戦士ガンダム」の生みの親の 1 人であり、マンガ家として歴史や神話を題材に した傑作を世に問うてきた安彦良和。気鋭の批評家・杉田俊介が、約20時間の取材 を通して、巨大なスケールを持つ安彦良和の作品世界に迫る。

2019:2./ 301p 978-4-12-150646-7 本体 ¥920+税

毎日新聞 2019/05/26



葛飾土産(中公文庫 な73-2)

永井 荷風 著

中央公論新社

"戦後はただこの一篇"と石川淳が評した表題作をはじめ、「東京風俗ばなし」「にぎり 飯」「畦道」「停電の夜の出来事」など、敗戦後の 4 年間に書かれた小説・随筆・戯曲 全19編を収めた、戦後最初の作品集。

2019:3./329p 978-4-12-206715-8 本体 ¥1,000+税

毎日新聞 2019/05/26



メカニックデザイナーの仕事論~ヤッターマン、ガンダムを描いた職人~(光文社新 書 771)

大河原 邦男 著

光文社

心掛けているのは、たとえアニメの世界であったとしても「?のないデザイン」をすること -。「ヤッターマン」「ガンダム」などを手がけたメカニックデザイナー・大河原邦男が語 るデザイン論、職人論、営業論。

2015:8./ 209p 978-4-334-03874-8 本体 ¥740+税

金月200年 日前名 1958 - 1858 日 日前名 1958 - 1858 日 でははます。 でははます。 でははます。 でははます。 ではます。 では。 ではます。 では。 では

資本主義と倫理~分断社会をこえて~

京都大学経済研究所附属先端政策分析研究センター 編 岩井 克人、生源寺 眞一、溝端 佐登史、内田 由紀子、小嶋 大造 著 東洋経済新報社

資本主義はどこに向かっていくのか-。経済、農業、社会、教育等、第一線研究者による最先端の問題意識から、現代文明社会をめぐる難問に鋭く迫る。2018 年 10 月開催のシンポジウムの記録。

2019:3./ 209p 978-4-492-96158-2 本体 ¥1,500+税

毎日新聞 2019/05/26



江戸の古本屋〜近世書肆のしごと〜

橋口 侯之介 著

平凡社

江戸時代の出版社たる版元=本屋の経営基盤は、古書の売買だった。本屋仲間の 実態、本替などの商習慣、セドリと書物の還流…。多様な史料を用いて、書物をめぐ る商売の実態に迫る。『日本古書通信』連載を加筆し単行本化。

2018:12./ 335p 978-4-582-46822-9 本体 ¥3,800+税

毎日新聞 2019/05/26



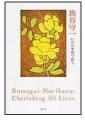
「ガンダム」の家族論(ワニブックス<PLUS>新書 050)

富野 由悠季 著

ワニブックス

大人になったガンダム世代は、どう家族と向き合えばいいのか?「機動戦士ガンダム」の生みの親である富野由悠季が、自作に託して家族と社会のあるべき未来を語る。 混迷を深めた時代を断固として生き抜くための、最新の警句。 2011:4./ 238p 978-4-8470-6033-5 本体 ¥800+税

毎日新聞 2019/05/26



熊谷守一いのちを見つめて

熊谷 守一著

青幻舎

長い人生をかけて自分自身を見つめ表現し続けた画家・熊谷守一。彼の愛したものを、いきものたちを描いた代表作や、素描、書、写真、図面、遺品から探る。2019 年 4 月?2020 年 1 月開催の同名展覧会の公式図録。

2019:4./ 239p 978-4-86152-727-2 本体 ¥2,300+税

毎日新聞 2019/05/26



キラキラヒカル~入沢康夫自選ライトヴァース集~

入沢 康夫 著

書肆山田

放水路の 長い堤の上に 二人 また三人とたたずめば 茜に染まつた南西からの風が 黒々と低い屋根屋根を越えてきて わが友どちの 鬢の白毛を揺すつて過ぎる (「江上夜宴歌」より) 詩集。

2019:5./ 118p 978-4-87995-985-0 本体 ¥2,500+税

毎日新聞 2019/05/26



うつ病とサッカー~元ドイツ代表 GK ロベルト・エンケの隠された闘いの記録~

ロナルド・レング、木村 浩嗣 著

ソル・メディア

サッカーの元ドイツ代表 **GK** ロベルト・エンケ。模範的なエリートアスリートであり、成功の絶頂にいた彼はなぜ自ら命を絶ったのか? ロベルトの残した日記をもとに、彼の生涯と知られざるうつとの闘いを描く。

2018:12./ 526p 978-4-905349-43-3 本体 ¥1,800+税